

国際理解教育 外国語活動の実践



国際理解教育全体計画

守谷市教育委員会

国際理解教育の目標

国際化にふさわしい日本人としての資質・能力の基礎を育てる

国際理解教育の内容

- 人権意識の涵養
- 異文化理解と尊重
- 自国の文化の理解と尊重
- コミュニケーション能力の育成
- 国際協力と協調

英語活動・外国語活動のめざす内容

- 異文化の理解と尊重
- 自国の文化の理解と尊重
- 主体性の育成

守谷市外国語活動全体目標

外国語に触れる体験活動を通して、外国語を聞いたり話したりすることに興味関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに、言語、文化、生活、習慣などに対する興味関心を高め、国際理解の基礎を培う。

小学校英語活動・外国語活動の目標

低学年	・歌や遊びなどの活動を通して、身近な外国語に触れ、その音に慣れ親しむ。 ・世界には、色々な国があることに気付き、異なる文化に興味をもつ。 ・外国語での元気なあいさつを通して誰とでも仲良くなろうとする態度を養う。
中学年	・歌や遊び、ゲームなどの活動を通して、簡単な外国語に触れながら、外国語を聞いたり、話したりすることを楽しむ。 ・異文化を受け入れようとする態度を育てる。 ・自分のことを外国語を交えて積極的に伝えようとする。
高学年	・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。 ・世界の国々の様々な生活や文化に触れ、自分たちの生活がそれらの国々と密接に結びついていることに気付く。 ・相手の立場を尊重し、外国語を交えて自分の考えをはっきり述べようとする。



中学校外国語（英語）科目目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

I 守谷市の外国語活動にあたっての基本的な考え

1 外国語活動のねらい

社会や経済のグローバル化が急速に進展し、異なる文化の共存や持続可能な発展に向けて国際協力が求められるとともに、人材育成面での国際競争も加速していることから学校教育において外国語教育を充実することが重要な課題の一つとなっている。

「人に優しい街づくり」を目指す守谷市としては、国際化時代への積極的な取り組みの第一歩として、市内全小中学校に英語指導助手（Assistant Language Teacher 略して ALT）を配置し、外国語活動を位置付けた。外国語に触れる体験的活動を通して、外国語を聞いたり話したりすることに興味・関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに、言語、文化、生活、習慣などに対する理解を深め、国際理解の基礎を培うことをねらいとし、様々な国の人とのふれあいを通して、優しさ・思いやりを基軸にした国際理解の精神を育てると共に国際コミュニケーションの素地を養い、次代を担う人づくりを目指して進めていきたいと考える。

2 外国語活動の意義と必要性

（1）小学校段階から実施する理由

児童期は、新たな事象に関する興味・関心が高く、言語をはじめとして、異文化に関しても自然に受け入れられる時期にある。このような時期に外国語に触れることは、コミュニケーション能力を育てる上でも、国際理解を深める上でも大変重要な体験となる。「外国語活動」そのものが異文化に触れる体験となり、さらに、外国の人や文化に関わろうとする時の手段として、外国語を活用しようとする態度を育成することにもつながる。すなわち、言語習得を主な目的とするのではなく、興味・関心や意欲の育成をねらうことが重要である。

また、児童期は、言葉に対する適応性という点からも適切な時期でもある。音声を中心に慣れ親しんでいく過程は、日本語の場合と同様であり、言葉を全体的に把握し、言葉のリズムやイントネーション、アクセントなどを自然な形で受け入れていくものと考えられる。

（2）英語を取り上げる理由

今日英語は、航空、商業、観光、先端技術分野、国際会議等の国際共通語として用いられており、多くの外国人と交流を深め、国際理解を進める上で最も有効な言語であり、世界とのコミュニケーションを図る上で欠かせない言語であるといえる。現行の中学校学習指導要領では外国語が必修教科となり、しかも「指導計画の作成と内容の取り扱い」の項目において、「2 外国語においては英語を履修させることを原則とする。」というように英語が取り上げられるようになった。また、新学習指導要領での小学校外国語活動においても、英語を取り扱うことを原則としている。

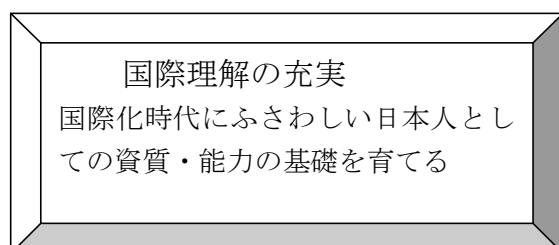
以上のことから、今後小学校における外国語（英語）活動はますますその必要性が高まることが予想され、それに的確な形で応えていくことが求められている。

3 教育課程特例校として

本市では、平成13年度より市内全小中学校にALTを常時配置し、小学校1年生から6年生までの全学年で外国語活動の研究実践を行ってきた。各学級とも週1時間実施し、全ての時間において担任とALTとのTT体制をとっている。これまで低学年では、教育課程外、中学年では総合的な学習の時間の「国際理解教育」として取り扱ってきた。しかし、平成23

年度からの小学校新学習指導要領全面実施に伴い、低学年の授業時数増加による児童の負担増が懸念されることから、文部科学省の教育課程特例校の指定を受けることにした。1，2年生の生活科，3，4年生の総合的な学習の時間の1時間を新たな「英語活動」の時間として設定し、守谷市英語活動の充実を図ることにした。

4 国際理解教育における外国語活動の位置付け



国際理解教育の内容

- ★ 人権意識の涵養
- ★ 異文化理解と尊重
- ★ 自国の文化の理解と尊重
- ★ コミュニケーション能力の育成
- ★ 国際協力と協調

守谷市外国語活動のめざす内容

- ① コミュニケーション能力の育成
- ② 文化(異国・自国)の理解と尊重



全 学 年 で 実 施	
① 特別活動の時間	学級活動，学校行事
② 創意工夫によって生み出された時間	
③ 朝の会・帰りの会・給食などの生活時間の中で	



1・2・3・4 学年	5・6 学年
①英語活動の時間（H23 年度より） ※ 1，2年生は生活科，3，4年生は総合的な学習の時間の内容を含む（教育課程特例校として）。 ② 各教科等	① 外国語活動の時間 ② 各教科等

教 科	取 り 入 れ の 視 点
国語	国際的な表現活動の違いを考える。
社会	地域や日本を国際的な立場から見てみる。
算数	筋道を立てて考える方法の違いに気付く。
理科	自然や環境についての国際的な考えを知る。
音楽	外国の音楽に親しむ。
図工	造形や鑑賞を通して，外国の文化を理解する。
体育	世界のスポーツに興味・関心を持つ。
家庭	衣食住の違いを理解する。
道徳	人間尊重の精神，他国の文化や伝統を尊重する態度を身につける。

Ⅱ 守谷市の外国語活動のあり方

1 守谷市の外国語活動の基本原則

- 守谷市の外国語活動は、外国語を通じてどれだけ子どもが興味・関心をもって楽しく積極的にコミュニケーション活動ができるかである。(単に英単語を覚え、英会話ができることを一義としない。)
- 守谷市の外国語活動は、ALTとJTEが子どもとのコミュニケーション活動を大切に、子どものコミュニケーション能力を育てていく活動である。
- 守谷市の外国語活動は、「聞くこと」「話すこと」に視点を置き、音声による活動を主とするものである。
- 守谷市の外国語活動は、外国語に触れることにより、子どもが異文化を理解し、自他の文化を尊重する国際人としての精神を育てていく糧とするものである。
- 守谷市の外国語活動は、基本原則を基に、各学校が全職員で協力し合いながら、年間活動計画を立案し実践していくものである。

2 守谷市の外国語活動の基本的な活動

子どもの外国語に対する興味・関心・意欲を高める活動

外国語で楽しく遊ぶ

主体的な活動・心のリラックス

音声活動・外国語のリズム・基本文型

- ゲームをとおして、動作化をとおして、レクリエーションをとおして、歌を歌って

コミュニケーション能力を養う

- スキットをとおして、ロールプレイや身近なテーマ活動をとおして



【英語での説明】



【カードゲーム】

Ⅲ 外国語活動の内容

1 外国語活動の目標

守谷市外国語活動の全体目標	
外国語に触れる 体験的 活動を通して，外国語を聞いたり話したりすることに興味関心を持ち， 積極的に コミュニケーションを図ろうとする態度や 能力 を育てるとともに，言語，文化，生活，習慣などに対する 理解を深め ，国際理解の基礎を培う。	

① 評価の観点と評価規準

評価の観点	観点の趣旨【★】 と 評価規準【①～③】
A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	★ 外国語を使って，進んで相手と関わり，コミュニケーションの喜びや楽しさを味わう。
	① 進んで相手と関わり楽しくコミュニケーションを図ろうとしている。 ② 知っている表現を積極的に使うなど，外国語活動に取り組もうとしている。 ③ ルールやマナーを守って，コミュニケーションを図ろうとしている。
B コミュニケーション能力	★ 聞いたり，話したりする体験的活動を通して，相手と気持ちや考えなどを伝え合う。
	① 相手の言葉，身振り，手振りなどから，伝えようとしていることを理解しようと反応している。 ② 自分の気持ちや考えを，親しんだ外国語表現や身振りなどを用いて伝えようとしている。 ③ 外国語によるコミュニケーションの仕方を身につけようとしている。
C 言葉や文化についての関心・理解・態度	★ 外国には，さまざまな考え方や文化があることや日本の文化とのちがいがいい，そのよさに興味をもつ。
	① 外国の人，言葉，文化にふれ，興味をもとうとしている。 ② 外国と日本の文化のよさやちがいに興味をもとうとしている。 ③ 外国の人に日本の文化を発信しようとしている。

② 外国語でのコミュニケーションを授業で体験する

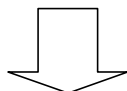
〔コミュニケーション場面の例〕

(ア) 特有の表現がよく使われる場面を設定する

・あいさつ ・自己紹介 ・買い物 ・食事 ・道案内 etc

(イ) 児童の身近な暮らしにかかわる場面を設定する

・家庭での生活 ・学校での学習や活動 ・地域の行事 ・遊び etc



〔コミュニケーションの目的の例〕

- (ア) 相手との関係を円滑にする【呼びかけ、相づち、聞き直し（＝Social Skill）】
- (イ) 気持ちを伝える【礼を言う、誉める（＝Social Skill / ＝Discourse Skill）】
- (ウ) 事実を伝える【（＝Discourse Skill）】
- (エ) 考えや意図を伝える【（＝Discourse Skill）】
- (オ) 相手の行動を促す【質問する、依頼する（＝Social Skill / ＝Discourse Skill）】

2 活動内容

守谷市の小学校における外国語活動は、英語という言葉を通して、日本とは異なる文化を持つ人々と進んでコミュニケーションを図ったり、ゲームや歌、または身近なテーマ中でのコミュニケーション体験を友達と楽しく活動したりする中で、他と積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力の素地を養うことを目標としている。

また、自然に英語の音に触れ、無理なく英語を聞き、話すといった英語に慣れ親しむなどの言語や文化の体験的な理解は、同時に国際理解の基礎を培うことであると考えます。

- (1) 守谷市が外国語活動を通して目指すねらいの一つ「コミュニケーション能力」については、「聞く」「話す」活動を主として育成していくものとする。
- (2) 主な活動内容については、必ず指導するものではなく、到達すべき内容でもなく、あくまでも学校の特色や学年の実態を把握し、年間計画を立案する上での参考とするものである。
- (3) アルファベットについての指導は、児童の実態に合わせて、小学校6年間で指導していくことが望ましい。但し、ドリル的な指導や教え込みの指導は控えるようにする。
- (4) 「書く」活動については、学年の実態に合わせて、「自分の名前を書く」「グリーティングカード作り」程度の内容に押さえておくことが望ましい。但し、「クラブ活動」など時間を通して、児童の興味・関心から判断し「書く」活動を取り入れてもよい。
- (5) 「文字」については、教えるのではなく、単語や基本的な文型など掲示板を活用して、視覚的に示すようにする。
- (6) 中学校の外国語教育との連携を考える上では、小学校の外国語活動は、児童に外国語や外国文化に対する興味・関心をもたせ、その高まりを中学校の外国語教育につなげ、「耳」から学んだ「聞く・話す」力を大いに発揮させることで、中学校の外国語教育に意欲的に取り組むことができるようにすることが重要である。

3 外国語によるコミュニケーションに親しむ環境作り

外国語によるコミュニケーションに親しむためには、外国語活動の時間以外に、ALTによる教育活動への参加や校舎内外の環境等を工夫することによって、児童への興味・関心を高めていくことができる。

- (1) 朝の時間、昼の時間、帰りの時間などの活動に、ALTと一緒に参加しやすいような活動を工夫することが望ましい。

- (2) J T E・H R Tは、積極的に外国語活動に取り組めるよう研修の機会を確保し、関係資料の整備などに心がける。
- (3) J T E・H R Tは、定期的に研修を行い外国語活動の反省と今後の活動等を検討することが望ましい。
- (4) 外国語活動教室の設置、国際理解コーナーの設置など、児童が自由にA L Tと触れ合える場を確保する。

4 年間活動計画の作成

(1) 年間活動計画作成の必要性

児童の外国語に対する興味・関心を高め、持続させつつ外国語活動の目標を達成させるためには、年間の活動計画が不可欠である。場当たりの活動を中心に進めることは、マンネリ化に陥りやすく、やがて児童は興味を失ってしまう心配がある。

従って、各学校は、守谷市の「外国語活動の基本的な考え方や全体目標」や「活動目標や評価規準」に沿って、児童の実態や地域性を踏まえ、学校の特色を生かしながら、年間活動計画を作成していくことが重要な課題になる。

また、単位時間の計画案についても、職員が協力し合い検討し、共に十分理解した上で活動に臨むことが大切である。そして、実践し、その活動が適切であったかどうか常に振り返り、見直し、修正し、記録を残すようにすることが、児童の積極的な活動につながる要因である。

(2) 年間活動計画作成の留意点

- 守谷市の外国語活動の基本的な考え方を押える。
- 守谷市の活動目標を柱に授業を構成し、評価規準で振り返る。
- 1年間を見通して、変化のある計画を立てる。
- 発達段階を考慮し、無理や重複のない計画を立てる。
- 地域の特性や学校環境を生かす。
- 国際理解や他国の文化に触れる活動を取り入れる。

年間活動計画や1時間の活動計画については、全職員が共に検討・見直し・修正を行い、共に実践し、共に積み重ねていくことが重要である。

作成に当たっては、日本語版と合わせて、A L Tが把握しやすいように英語版を用意することにも配慮したい。

5 第2土曜日の外国語活動

(1) 名称 「A L Tと遊ぼう」

(2) 趣旨

- 守谷市における小学生の国際理解の精神を深めるとともに、国際交流に対する積極的な態度を養う。
- 学校週5日制に伴い、外国語活動を通して土曜日の体験活動の場を提供し、充実を図

る。

- 外国語活動を通して、学校・児童・保護者交流・連携を図る。

- (3) 対象 守谷市小学生及び保護者
- (4) 内容 A L T 3 人の講師による外国語遊びを中心とした外国語活動
- (5) 期日 原則毎月第 2 土曜日

6 外国語活動推進委員会

- (1) ねらい

- 外国語活動の積極的推進と A L T の有効活用のための研修を実施する。
- 小学校から中学校への外国語活動におけるスムーズな連携のための研修と、協議を実施する。
- 小学校、中学校の授業研究を交互に実施し、研究協議を通して守谷市の外国語活動の充実を図る。

- (2) 平成 2 3 年度外国語活動推進委員会実施一覧

期 日	内 容	場 所
5 月 1 2 日 (水)	今年度の取組, 各校年間活動集作成	市役所大会議室
7 月 7 日 (木)	小学校授業研究と協議	郷州小学校
1 0 月 1 8 日 (火)	中学校授業研究と協議	御所ヶ丘中学校
2 月 2 日 (木)	小学校授業研究と協議	松ヶ丘小学校

7 A L T ミーティング

- (1) ねらい

- A L T 資質の向上を図る。
- 各校の情報交換と教材研究及び開発。

- (2) 平成 2 3 年度 A L T ミーティング実施一覧

期 日	時 間	場 所
4 月 1 日 (金)	1 4 : 0 0	市役所 中会議室
4 月 2 1 日 (木)	1 5 : 3 0	市役所 庁議室
6 月 6 日 (月)	1 5 : 3 0	市役所 第 9 会議室
9 月 1 日 (木)	1 5 : 3 0	市役所 小会議室
1 1 月 1 日 (火)	1 5 : 3 0	市役所 中会議室
1 月 1 0 日 (火)	1 5 : 3 0	市役所 第 9 会議室

□ 小学校実践事例 □

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立大井沢小学校

1 はじめに

小学校での外国語活動（英語活動）は「コミュニケーション能力の素地を養う」のが目標で、知識やスキルの定着が目的ではない。ALTとのネイティブな英語のやり取りやゲームなどの体験的な活動を盛り込み、英語への興味や関心を高めると共に異文化を理解し、自他の文化を尊重する精神を育むことがねらいである。

そこで、本校では、英語好きの子を増やしていくために、ALTと学級担任による、児童が安心して楽しく活動する『英語で存分に遊ぶ』外国語活動に取り組んできた。

2 実践

本校では、児童が安心して楽しく活動する『英語で存分に遊ぶ』外国語活動（英語活動）をするために、年間指導計画を見直し、次のことを重点に取り組んだ。

〈低学年〉

生活用語を重視した活動に取り組んだ。その中でも挨拶の言葉を重視し、毎回繰り返して指導した。また、「Simon says」「Body part」等のゲーム、歌をたくさん取り入れて楽しい雰囲気の中で授業を実施した。

〈中学年〉

中学年では、月日・曜日、天気に関する簡単な会話を重点にし、毎回繰り返して指導した。また、「英語のシャワー」の歌やじゃんけんゲーム、ダイスゲーム、鬼ゲーム等の英語を楽しく聞いたり、話したりする活動に取り組んだ。

〈高学年〉

高学年では、英語ノートを活用し簡単な文型を使い、楽しく友達やALTとコミュニケーションを図る活動を行った。キーワードゲームでALTと1対1で交流することや英語でコミック作り等にも取り組んだ。

その他、ハロウィン、クリスマス、バレンタインの時期に関連する単語を使ったゲームや遊び、スキット、カード作り等体験的に英語で外国の文化にふれ楽しむ授業に取り組んだ。また、振り返りカードを使った自己評価の実施や校内英語コーナーの充実にも取り組んだ。

3 特例校としての取組

〈低学年〉

生活科のねらいに迫るために、挨拶や家族に関する英語を聞いたり話したりする活動を重視して行った。家族の一員であることの意識を高めた。

〈中学年〉

総合的な学習の時間のねらいに迫るために、クリスマスやバレンタインでは、ALTから日本とアメリカの習慣の違いを聞いて自分たちの文化との違いやよさに気付く場を設けた。また、色々な国の言葉調べや国旗調べにも取り組ませた。

4 成果と課題

◇ 成果

- ・英語を言うことへの抵抗感が少なくなり、大きな声で話したり挨拶したりできる児童が増えた。
- ・ALTと児童の関係が大変良好で、英語活動をととても楽しみにするようになった。

◆ 課題

- ・英語でのコミュニケーション能力を高めるためには継続的な指導が必要である。ALTによる複数年の指導が課題である。保護者アンケート等からも同じALTによる継続した指導を望む声がよせられている。
- ・児童が安心して生き生き活動する外国語活動が、更にステップアップするような楽しい手立てを工夫し、英語でのコミュニケーション能力の向上を図る。

題材名 「Valentine's Day」

時間 (分)	学 習 活 動	☆留意点	★準備する物
5	1 英語で挨拶する。 How are you? ・ I'm fine. ・ I'm happy. ・ I'm sleepy. ・ I'm hungry. ・ I'm so— so. など	☆ 元気な挨拶をすることで、活動への期待感を高める。(HRT/ALT) ☆ 一人一人と挨拶を交わし、コミュニケーション能力の育成に努める。 ☆ 挨拶の後に、日にちや曜日も問いかけ、変化をつける。	
3	2 Simon says ゲームをする。	☆ 思い切り体を動かし、楽しい雰囲気づくりをする。	
10	3 バレンタインに関わる話を聞く。 (1) アメリカのバレンタインの風習について聞く。(ALT) (2) バレンタインに関係する単語を覚え、練習する。 ・ heart ・ pink ・ red ・ chocolate ・ rose ・ present ・ I love you. ・ Valentines card ・ cupid ・ teddy bear	☆ 日本とアメリカの違いなどについても、分かりやすく説明することで、外国文化に関心をもてるようにする。 ★ 絵カード (資料1) ☆ 既習単語と新出単語を交ぜて練習することで、自信をもって話すことができるようにする。	
12	4 バレンタインカードを作る。 	★ バレンタインカード (資料2) ☆ ALTが作った見本になるカードを提示して、児童の理解を助ける。 ☆ HRTとALTが、分かれて個別に英語で声かけをしながら、支援する。	
10	5 バレンタインの単語を使ったゲームをする。 <例> ・ 鬼ゲーム ・ クイズレースゲーム ・ NGワードゲーム	★ 絵カード (資料1) ☆ ゲーム内容によっては、机や椅子を教室の端に寄せて、広く場所をとる。 ☆ ゲームの中で、単語を発音したり、耳で聞いたりする活動を多くとり、楽しみながら英語に親しめるようにする。	
5	6 活動を振り返る。 (1) 振り返りカードに記入する。 (2) 挨拶をする。 Thank you very much! See you next time. See you! Bye Bye.	会話やゲームに積極的に参加し、活動を楽しむことができたか。(観察) ☆ 本時の活動を振り返り、楽しくできたことを賞賛し、活動への満足感がもてるにする。(HRT/ALT) ☆ 大きな声で挨拶し、次時への期待感を高める。(HRT/ALT)	

題材名 「時刻の聞き方とこたえ方」

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点と評価 (☆) 準備するもの (★)	
		HRT の指導	ALT の指導
2	1 あいさつをする。 Hello. How are you?	・児童と一緒に元気にあいさつをする。	・正しい発音のモデルを示す。
8	2 ウォームアップの歌を行う。 Head shoulder knees and toes の歌	★音楽CD ・児童と一緒に歌ったり、体を動かしたりする。	・正しい発音のモデルを示す。
5	3 前時の復習をする。 It's [time] o'clock. [one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, eleven, twelve]	★時刻の絵カード ・ALT の発話がわからず戸惑っている児童には、ポイントを教えて、再度 ALT の発話を聞くように促す。	・時刻の絵カードを提示する。
5	4 ターゲットフレーズのプレゼンテーション Q What time is it? A It's [time] o'clock.	・ALT とともにデモンストレーションを行う。 ・ALT の指示がわからず戸惑っている児童に対しては、日本語の補足説明を行うようにする。	・児童全員が大きな声で発話できるまで繰り返し正しい発音のモデルを示す。 ・本時のターゲットフレーズの説明と時刻の聞き方、答え方のデモンストレーションを行う。
15	5 ゲームをする。 (カルタゲーム) ルール ① ALT : Three two one (action). ② Child : What time is it? ③ ALT : It's [time] o'clock. ④ Child : ALT の③の発話に従い、カルタカードをとる。 ⑤ Child : カードをとった児童は声を合わせて「It's [time] o'clock.」と言う。	★時計カルタゲーム用時刻カード (資料1) ・ALT とともにデモンストレーションを行う。 ・ゲームのルールがわからず戸惑っている児童に対しては、日本語の補足説明を行うようにする。 ・ゲームの中で時刻の英語のわからず戸惑っている児童に対しては、時計の絵とカタカナ読みを書いたカードを見せ、視覚と聴覚の両面から支援する。	・児童全員が大きな声で発話できるまで繰り返し正しい発音のモデルを示す。 ・カルタゲームのやり方を説明する。 ・「Three two one (action).」という掛け声により児童に「What time is it?」と質問させた後、「It's [time] o'clock.」という外国語での発話をする。 ・児童が「What time is it?」と大きな声で発話できるまで、「It's [time] o'clock.」をふせておくなど、児童が大きな声で発話できるよう配慮する。
7	6 本時の活動の振り返りをする。	☆ALT の話す英語の発音に興味をもち、しっかりと聴こうとする。(観察)	
		☆友だちや ALT と時刻を扱ったゲームを楽しもうとする。(観察)	
		☆友だちや ALT とコミュニケーションをとりながら、積極的に関わろうとする。(観察)	
3	7 あいさつをする。 Thank you. See you next time. Good bye.	・児童とともに大きな声であいさつをする。	・本時の活動を振り返る。 ・児童の英語に対する態度のよかったところを伝える。

第1学年の英語活動

(資料1 絵カード)



バレンタインに
関する絵カード

- ・ heart ・ pink
- ・ red ・ chocolate
- ・ rose ・ present ・ I love you.
- ・ valentines card ・ cupid
- ・ teddy bear など

(資料2 バレンタインカード)



授業の流れ



Simon says ゲーム



アメリカの
バレンタイン
を紹介

一人一人と挨拶



鬼ゲーム

教室の4隅に単語を貼って、好きな場所へ
ロバート先生が言った単語を選んだら

OUT!



クイズワードゲーム

ロバート先生が出したカードの
単語が言えたら、ポイントゲット

1の2 VS ロバート先生

バレンタインカードを
作ろう



第2学年の英語活動

(資料1 時計カルタゲーム用時刻カード)



- 全員がカードを取れるようにカードの枚数を用意。
- 普通のカードは1点、シールの貼ってあるカードは2点。

ロバート先生

“What time is it?”

子どもたち

“It's nine o'clock.”

授業風景



外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立大野小学校 担当 小泉 正子

1 はじめに

本校では，外国語活動を通して，外国の言語や文化に興味・関心を持ち，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために，外国語活動の授業や校内環境の工夫を行ってきた。

2 実践

（１） 授業での取り組み

- 年間計画の中で同じ言葉や会話を繰り返し取り上げ，何度も復習することで理解を深め，外国語に慣れ親しむようにする。
- 動作を取り入れながら歌を歌ったり，発音練習をしたりして体験的に言語に親しむようにする。
- 季節や行事に合わせてカードなどの物作りを行い，外国の文化を理解できるようにする。

（２） 校内環境

- 校舎内の各階に国際コーナーを設置し，英語や異文化の理解を深めるようにする。
- 「英語のシャワー」CD を 8:00 ～ 8:15 に流し日常的に英語に触れるようにする。



3 特例校としての取り組み

〈低学年〉

- あいさつを覚えてコミュニケーション能力を育てたり，ゲームを通して，友達や先生とコミュニケーションを図る。また，動物や季節の表現を覚える。

〈中学年〉

- 生き物や食べ物の英語での表現を調べたり，世界の料理や米の加工品を調べたりする。

4 成果と課題

初めのあいさつは，学習の導入時にパターン化していることで，ごく自然な形で発音ができていた。毎時間，活動の中心になる会話を位置付けていること，何週かにまたがって繰り返し会話の練習を行うことで，理解を深めることができた。ALT が休み時間や他教科で積極的に児童と親しむことで，英語の授業でも楽しく学習することができた。

課題としては，物の名前を覚える活動が多くなったため，会話を使ったコミュニケーション活動をより増やしていきたい。ALT によって発音の仕方が違う単語があり，レッスンプラン等を通して事前にインタラックと連絡調整する重要性を感じている。

大野小学校 第3学年 外国語活動学習指導案

指導者 H R T 小泉 正子

A L T エリン・ファウラー

題材名 「生き物の名前」

学 習 活 動 及 び 内 容	指導・支援上の留意点 (㊟ は評価)	
	H R T	A L T
1 あいさつとWarm・up ・ Good morning! How are you? ・じゃんけんゲームを行う。	・児童と一緒に声を出して挨拶を返し、元気よく挨拶できるようにする。	・英語で挨拶をする。 Good morning! How are you?
2 Review ・フラッシュカードを使って、動物の単語の発音を練習する。 ・どんな生き物を飼っているかを尋ねるときの表現の仕方を練習する。 What do you have ~? I have ~.	・A L Tの発音をよく聞き、生き物の発音や唇の形を真似てしっかりと声を出すように支援をしていく。	・フラッシュカードとを用いて、色々な動物の言い方を練習させる。くり返しの発音によって絵と英単語がしっかりと結びつくようにする。
3 インタビューゲームをする。 ・教室の中を自由に動き、会話の相手を探す。 ・2人1組になり、質問をする役と答える役に分かれて会話の練習をする。 ・お互いに聞き合ったら、別の相手を探してゲームを続ける。	㊟自分が飼っている生き物の名前をはっきり伝えたり、相手に質問をしっかり聞いたりしようとしている。 (コミュニケーション能力：行動観察)	
4 本時のまとめとふり返しをする。 ・本時の会話を復唱し、まとめとする。	・児童に様子を観察したり質問したりして、本時の課題が理解できたか確認していく。	・本時の会話を復唱することで学習内容を再確認し、まとめとさせていく。

大野小学校 第5学年 外国語活動学習指導案

指導者 H R T 室伏 喜久子

A L T エリン・ファウラー

題材名 「S h o p p i n g」

学 習 活 動 及 び 内 容	指導・支援上の留意点 (㊦ は評価)	
	H R T	A L T
1 挨拶とWarm・up Good morning! How are you? I'm ~. Today is Wednesday October 19th, 2011. How is the weahter? It's~.	・児童が元気よく挨拶できるよう見守る。 ・挨拶が苦手だったり、声が小さかったりする児童には、一緒になって答えるようにする。	・英語で挨拶をする。 Good morning! How are you? I'm ~. ・全体に挨拶をした後、数名の児童と挨拶を交わす。
2 Review ・フラッシュカードを使って、服装の単語の発音を復習する。 ・店で買い物をする時の会話の仕方を復習する。 How much is the ~? ~dollars please. Okay, thank you!	・机間指導をし、買い物の場面で、客と店員がどのようなことを言っているか尋ねながら、発音の仕方へのアドバイスや励ましをしていく。	・フラッシュカードとを用いて、色や服装の言い方、買い物の仕方を復習させる。くり返しの発音によって絵と英単語がしっかり結びつくようにする。
3 買い物ゲームをする。 ・店の準備をする。 ・2人1組になり、買い物ゲームをする。 ・売り手、買い手を交換してゲームを続ける。 ・買い物ゲーム終了後、片付けをする。	・H R T, A L T も机間指導をしながらゲームに加わり、会話することの楽しさを共有する。使う言葉に戸惑っている児童には、発音の仕方をアドバイスしていく。 ㊦ 自分のほしい物をはっきり伝えたり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりしようとしている。 (コミュニケーション能力：行動観察)	
	・児童に様子を観察したり質問したりして、本時の課題が理解できたか確認していく。 ・本時の活動をふり返り、自己評価カードへの記入がしっかり行えるよう見守る。	・本時の会話を復唱することで学習内容を再確認し、まとめとさせていく。 ・自己評価カードを見ながら、児童の活動を賞賛し、次時への意欲に繋げていく。
4 本時のまとめとふり返しをする。 ・本時の会話を復唱し、まとめとする。 ・ふり返しカードを使い、本時の学びをふり返る。		

(資料 1) 学習の様子



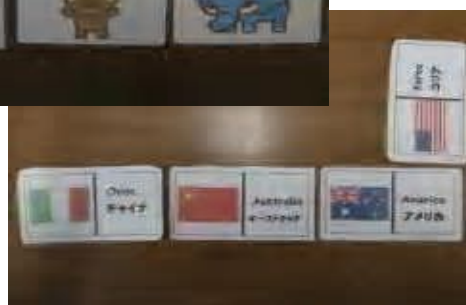
〈異文化理解に繋がる季節や行事に合わせた物作り〉



(資料 2) 活用した絵カード



〈ボードゲーム作り〉



(資料 3) 授業で使ったプリント



〈食べ物ビンゴカード〉



〈レストランのメニューを考える〉

外国語活動(英語活動)の実践

守谷市立高野小学校

1 はじめに

市の英語活動の目標として、「言語・文化・生活・習慣などに対する興味関心を高め、国際理解の基礎を培う。」という部分がある。このことを受け、ALT は積極的に外国のことについて児童たちに伝えている。彼らは、児童たちに教えるだけでなく、日本のことについて児童や日本人の教師たちから吸収し、短い期間で日本語を上達させている。この姿勢こそ私たちが学ぶべき姿勢である。同時に児童たちに学ばせていくことであると考え、ALT、HRT、児童で相互に学びあうことが大切である。

2 実践

- ・本校では、毎週火曜日をイングリッシュデイとして、朝の会、帰りの会、授業の挨拶を英語で行っている。昼の放送では ALT が英語のクイズを出して、できた児童にカードを与えている。
- ・校内の掲示板に英語コーナーを作り、各学年で使った絵カードやワークシート、外国の文化に関するものを掲示し、児童たちの意欲を喚起している。
- ・給食時には ALT が教室を訪問し、児童たちのグループに入って給食を食べながら交流を深めている。
- ・年に1回 ALT の保護者対象の授業を行い、児童だけでなく保護者にも英語教育に関心をもってもらえるようにしている。

3 特例校としての取り組み

<低学年>

- ・身近な人々、社会とのかかわりに関連する取り組みとして、あいさつから始まる人とのコミュニケーションを深めるための表現を学習してきた。
- ・自然とのかかわりに関連する取り組みとして、毎日の天気の状態、好きな動物について問答する時に必要な表現を学習してきた。
- ・自分自身のことを表現するために数について学習し、年齢などを表現する学習をした。

<中学年>

- ・外国で人気のあるスポーツを調べるために、英語で ALT に尋ね、ワークシートにまとめた。また、日本のスポーツと比較してみることで国際的な知識を深め、探求的な学習ができた。
- ・ハロウィン、クリスマスなどの外国の文化について、小グループになって調べてまとめた。ハロウィンについては、日本にはない行事として興味深く調べ、ALT とともにマスク作りを行い、ゲームを行った。クリスマスについては、日本のクリスマスとの違いについて調べ、カード作りに生かした。
- ・毎年学習し、積み上げてきた表現を使って授業でウォームアップを行い、定着を図っている。(全学年で実施)

4 成果と課題

- ① 低学年では、体を動かしながらのゲームや歌を多く取り入れてきたことで、児童たちが楽しみながら英語に触れることができた。
- ② 英語で挨拶・問答ができたことで、自分のよさや可能性に気付き、自信がもてるようになった。
- ③ 外国の文化に触れることで、日本文化との違いに気付き、もっと外国について知りたいという児童が増えた。
- ④ 週1時間の英語活動を楽しみにし、休み時間にも英語で積極的に ALT とコミュニケーションを図ろうとする児童が増えた。
- ⑤ 評価について、自己評価カード、補助簿との関連、ALT との連携などの課題がある。
- ⑥ 小学校で学習したことを中学校にどう伝え、生かしていくか、今後の小学校から中学校への英語学習の連携についての体制作りが必要になっている。

高野小学校 第4学年外国語活動案（英語活動案）

授業者 HRT 寺田 茂雄
ALT Jason Downey

題材名「At the hamburger shop」

学習内容・活動	指導上の留意点・評価	
	A L T の指導	H R T の指導
1 あいさつをする。 Hello. How's the weather? What day is it today? 2 Do you like Broccoli Ice Cream?を歌う。 3 食べ物についての表現を復習する。 4 ハンバーガーにトッピングする時の表現の仕方を学習する。 Can I have a burger with . . . ? 5 トンネルゲームをする。 (1) 2チームに分かれる。 (2) デモンストレーションを見る。 (3) ALT の英語を聞き、ペアで保持しているカードについて言われていたら、仲間の作ったトンネルをくぐって、元の場所に戻る。 (4) チーム全員でカードの内容を英語で発声し、座る。 (5) 早く発声し、座ることができたチームの得点になり、得点の多いチームの勝ちとなる。(資料2) 6 あいさつをする。	・児童と一緒に元気に挨拶し、明るく、楽しく学習できる雰囲気作りに努める。 ・正しい発音のモデルを示す。 ・ジェスチャーを入れながら、楽しい雰囲気の中で歌えるようにする。 ・前時に学習した様々な食べ物について、絵や模型を見せながら質問していく。(資料1) ・児童の反応に応じて、質問のレベルを変えていく。 ・身近にある実物を用いて、児童の理解を促す。 ・絵カードに書いてある食べ物を使って児童の視覚に訴え、聴覚と連動させるようにする。 ・英語、ジェスチャーを使って児童が理解しやすくなるように工夫して説明する。 ・児童たちによるデモンストレーションを行い、うまくできたら賞賛する。 ・読むタイミング、スピードに配慮し、どのペアも集中できるようにする。 ・大きな声で発声しているチーム、声がそろっているチームを賞賛することで両チームの意欲を喚起する。	・質問が理解できていない児童がいたら、個別に支援する。 ・児童と一緒に歌い、次の活動に繋げるようにする。 ・児童の様子を観察し、必要に応じて支援する。 ・児童の反応を見ながら、一緒に発音し、この後の活動に円滑に入れるか観察する。 ・机間指導しながら、児童の反応を観察し、反応できていない児童に対して支援する。 ・日本語とのアクセントの違いに気付かせたい。 ・人間関係や学力に配慮する。 ・理解が不十分な児童には、その児童に応じた支援をし、次の活動に円滑に入れるようにする。 ・単なる走り比べにならないように、ゲームの意義を確認する。 ・発声できていない児童がいたら、一緒に発声することで表現の定着を図る。
	評 トンネルゲームをしながら、友だちや ALT とのコミュニケーションを楽しもうとしている。	
	・児童とともに挨拶をし、明るい雰囲気の中で終わる。	(資料3) ・児童とともに挨拶をし、次時への意欲をもたせる。

高野小学校 第6学年外国語活動案（英語活動案）

授業者 H R T 山野井 文子

A L T Jason Downey

題材名 「directions」

学習内容・活動	指導上の留意点・評価	
	A L Tの指導	H R Tの指導
1 あいさつをする。 Hello. How's the weather today? What day is it today? 2 児童同士でウォームアップを行う。 3 方向を表す言葉を学習する。 4 迷路ゲームを行う。 (1) 5人のグループになる。 (2) デモンストレーションを見る。(資料4) (3) グループごとに迷路ゲームを行う。 ・英語、ジェスチャーで方向を代表者に伝えていき、ゴールを目指す。ゴールしたら次の代表者に代わり、グループの全員が代表者になる。代表者は目隠しをする。(資料6)(資料7)	・児童と一緒に元気に挨拶し、明るく、楽しく学習できる雰囲気作りに努める。 ・児童が積極的に質問したり、答えたりできるように模範を見せる。 ・絵やジェスチャーを使って、視覚と聴覚に伝えていくようにする。 ・初めての表現については、ゆっくり、丁寧に表現する。 ・英語とジェスチャーを使って、児童が理解しやすくなるように工夫する。 ・聞いている児童たちにも英語、ジェスチャーで理解するようにさせる。 ・グループで日本語を使わないようにさせるために、他のグループから1名を審判として入れる。 ・代表者が何人ゴールまで到達したかボードに示して、競争意識を高める。 ・苦手な児童にも表現しやすくするためにヒントカードを用意しておく。(資料5) ・英語とジェスチャーで伝えようとしたグループを賞賛する。	・児童の理解を促すために、状況に応じてジェスチャーなどで支援する。 ・児童たちの視線がALTに向いているか、ひとりひとりについて確認する。 ・ALTと一緒にジェスチャーをしながら発声しているかチェックする。 ・学力に差が出過ぎないように事前にグループ作りに注意しておく。 ・デモンストレーションに積極的に児童が参加できるように配慮する。 ・よくできた所は賞賛し、次の活動に意欲をもたせる。 ・英語とジェスチャーでゲームが進められているかをチェックする。 ・代表者にうまく伝えようと工夫しているグループを賞賛し、良い所は他のグループにも紹介する。 ・順位ばかりではなく、個人の頑張りや工夫を賞賛し、これからの英語活動への意欲付けとする。
5 あいさつをする。	・英語とジェスチャーで児童と一緒にあいさつをする。	・児童とともにあいさつをし、次時への意欲をもたせる。



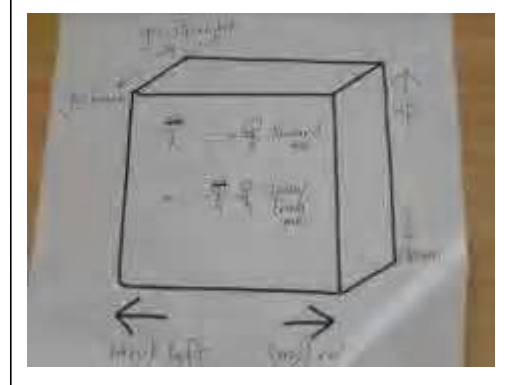
(資料 1)



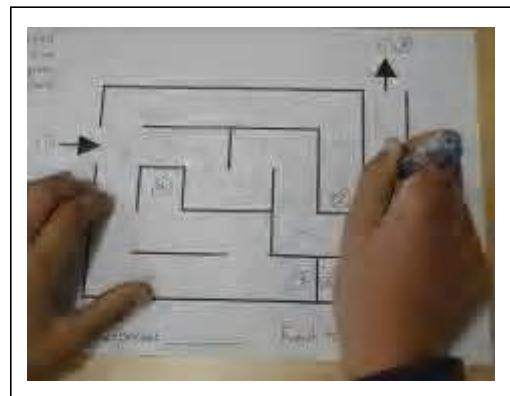
(資料 4)



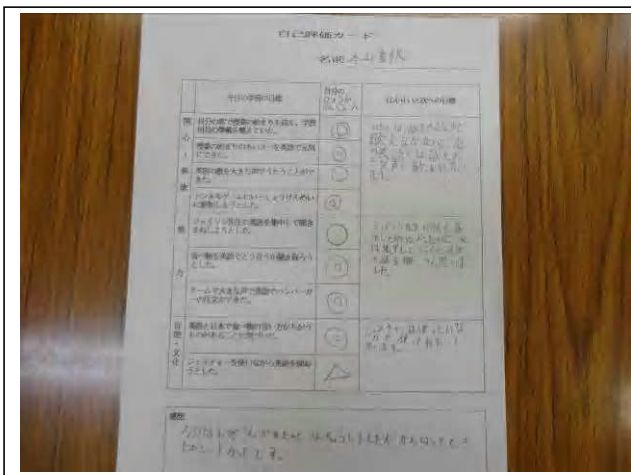
(資料 2)



(資料 5)



(資料 6)



(資料 3)



(資料 7)

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立守谷小学校

1 はじめに

本校の外国語活動（英語活動）では守谷市の目標である「外国語に触れる体験的な活動を通して、外国語を聞いたり話したりすることに興味関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに、言語、文化、生活、習慣などに対する理解を深め、国際理解の基礎を培う。」をもとに、英語という言語を通して日本とは異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図れるようにするために、歌やゲームでの交流、身近なテーマを設定した異文化理解やコミュニケーション体験などを楽しく行っている。

2 実践

高学年では、ほとんどの児童が外国語活動の時間を楽しみにしており、意欲的に外国語活動に取り組んでいる。積極的にコミュニケーションを図る楽しさを味わわせるために、日常生活の一場面を取り上げて、体験的に理解を深めるようにしてきた。例えば、ファーストフード店でのコミュニケーション活動では、興味関心が持続するようにグループごとに商品を作り販売するなど、友達との関わりを深めることができた。また、異文化理解では、日本と外国との生活や習慣などの違いに気づけるように、実物を提示したり、実際に体験活動を行ったりした。

3 特例校としての取り組み

<低学年>

生活科の究極の目標は、具体的な活動や体験を通して、自立への基礎を養うことである。英語活動との関連をみると、言語活動を重視した「伝え合い、交流し合い、気付き合う」ことがその一つとして考えられる。その中で、身近な人々との関わりに於いては、誰とでも仲良くなるために英語で自己紹介を行った。自己紹介ができた時はカード交換し、握手をするなどコミュニケーションを図った。また、社会、自然との関わりに於いては、いろいろな野菜を好きか嫌いかで答えたり、カルタゲームをしたりして表現力を高めた。

<中学年>

総合的な学習の時間のとの関連では、国際理解や情報に関する内容が挙げられる。ハロウィーンやクリスマスのテーマでは、その国の習慣や歴史を知り、異なる文化や言語の違いを歌やゲームなどで体験し、日本の文化との違いを理解することができた。私たちの街のテーマでは、公共施設等を英語で表現したり、また場所を問う場面を設定し、答えたりするなど、コミュニケーション活動を行った。

4 成果と今後の課題

過日、全校児童を対象に外国語活動（英語活動）のアンケート調査を実施した。児童の92%が「外国語活動を楽しみ、毎週楽しみである。」と答えた。また、「英語を話せるようになりたい。」と思っている児童が90%であった。「道で外国の人に道を尋ねられたらどうしますか。」の問いに対しては、「英語で答えるが78%」「日本語で対応する20%」「わからない2%」だった。児童の外国語活動への期待は大きく意欲が感じられる。しかし、1割弱の児童は外国語活動に対して消極的であるのでそれを解消していきたいと思う。

生活科や総合的な学習の時間との関連では、それぞれのねらいに迫るもう一步踏み込んだ内容が必要であることが分かった。次年度は、更にコミュニケーション活動が活発に展開できるように研修していきたい。

守谷小学校 第3学年英語活動案

授業者 H R T 間宮 まり子
A L T グレゴリー ゴルデ

題材名「その人は誰？」

配時	学習活動及び内容	支援と評価 *評価	
		H R T	A L T
3	1 あいさつをする。 Good morning. I'm fine , thank you. And you? ABC song を歌う。 自分の家族を紹介しよう。	・児童と一緒に元気にあいさつをし、歌を歌う。 Good morning. How are you?	・児童にあいさつをし、一緒に歌を歌う。 Good morning. How are you?
5	2 Q Aを行う。 T: Who's That? C: She is my (). He is my ().	・活動の説明をする。 ・ALT と一緒にデモンストレーションをする。	・活動に使用する絵カードを示しながら発音の練習をする。 ・HRT と一緒にデモンストレーションをする。
5	3 リレーゲームを行う。 ・6列になって、それぞれ8枚ずつカードをもち、後ろの人に質問する。 後ろの人は、She is my~. He is my~. で答える。	・活動の説明をする。 ・つまづいている児童がいたらアドバイスをする。 Who's That? She (He) is my ~.	・質問の仕方や答え方を確認する。 Who's That? She (He) is my~.
10	4 カルタゲームを行う。 ・ランチグループになってカードを床に並べる。児童が ALT に Who's that?と質問をする。ALT が She (He) is my ~.と答え、児童がカードをとる。	・活動の説明をする。 ・ALT と一緒にデモンストレーションをする。 Who's that?	・カードを各グループに配る。 ・HRT と一緒にデモンストレーションをする。 She (He) is my ~.
15	5 家族を紹介し合う。 ・ジャンケンで勝った人から質問をしていき、お互いに家族を紹介し合う。 Who's that? She is my ().	・活動の説明をする。 ・ALT と一緒にデモンストレーションをする。 ・自分から声をかけられない児童に対しサポートする。 *積極的に相手に英語で家族を紹介しようとしている。 (活動の様子)	・HRT と一緒にデモンストレーションをする。 ・児童と一緒に活動に参加する。
5	6 本時の振り返りを行いあいさつをする。 See You. Thank you.	・本時の活動の感想を聞き、賞賛の言葉をかけ、次時への意欲を高める。	・本時の活動について、賞賛のコメントをする。

題材名 「Ability できることを伝えよう」

配時	学習活動及び内容	支援と評価 (※評価)	
		HRT	ALT
5	1 あいさつをし、ウォーミング・アップを行う。 Good morning. I'm fine, thank you. ABC song を歌う。	・児童と一緒に元気にあいさつをし、歌を歌う。 Good morning. How are you?	・児童にあいさつをし、一緒に歌を歌う。 Good morning. How are you?
	友だちにできることをインタビューしよう。		
8	2 シェイク・ハンズ・ゲームを行う。 ペアの児童と同じスポーツを言うことができれば座る。 I can play baseball/ tennis/ soccer. I can't play baseball/ tennis/ soccer.	・活動の説明をする。 ・デモンストレーションを示す。 Shake hands Ok, I can play baseball. ・最後のペアが座ったときは、温かく称賛する。	・活動に使用する単語の絵カードを示しながら、発音の練習をする。 ・デモンストレーションを示す。
5	3 ミッシング・ゲームを行う。 黒板にはってある絵カードの中から、消えたカードをあてる。 I can play the piano/ recorder. I can't play the piano/ recorder.	・活動の説明をする。 ・ALT の質問に児童と一緒に答える。 I can play the piano.	・演奏できる楽器の言い方を確認する。 I can play the piano. ・児童に質問する。 What's missing?
8	4 ジェスチャークイズを行う。 ペアのジェスチャーを見て、何を表しているかをあてる。 Can you play the piano? Yes, I can./ No, I can't.	・活動の説明をする。 ・デモンストレーションを示す。 Can you play the piano? ・つまづいているペアがあつたら、一緒に活動する。	・児童にジェスチャークイズを出す。 ・デモンストレーションを示す。 Yes, I can. No, I can't.
1 4	5 インタビュー活動を行う。 ・ジャンケンで勝った人から先に質問する。 ・インタビューをして、ワークシートの名前欄を全部うめる。 Can you play baseball? Yes, I can. No, I can't.	・活動の説明をする。 ・デモンストレーションを示す。 ・なかなか自分から声をかけられない児童を中心に声をかけ、一緒に活動する。 ※進んで英語で話しかけようとしている。 (活動の様子)	・デモンストレーションを示す。 ・児童と一緒に活動に参加する。
5	6 本時の振り返りを行い、あいさつをする。 See you. Thank you.	・本時の活動の感想を聞き、称賛の言葉をかけ、次時への意欲を高める。	・本時の活動について、称賛のコメントをする。

< 資料 >

			
piano	flute	drums	samisen
			
recorder	sax	guitar	triangle
			
badminton	baseball	soccer	volleyball
			
table tennis	dodge ball	basketball	tennis

			
grandmother	mother	brother	teacher
			
grandfather	father	sister	friend

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立黒内小学校

1 はじめに

国際化時代へ向けて急速なグローバル化が進む中、異なる考えや文化、言語を持つ人々と共に生きていくために、コミュニケーションを積極的に図ろうという態度の育成が重要になってきている。市内にも多くの背景を持つ人々が生活しており、そのような人々と共存していくためには児童期からの体験的な活動が大きな役割を果たすと考え。本校でも、今年度から外国語活動（英語活動）が全学年で実施されるにあたり、コミュニケーション活動の素地を養うということを全職員が認識し、児童が意欲的に活動し、楽しいと感じられる活動内容を考え、6年間を通しての系統的な学習内容に取り組んでいる。

2 実践

本校では、コミュニケーションの素地を養う土台を作るため、基本となる単語や表現方法のインプットを繰り返し行うことを徹底している。児童が感じたことや伝えたいことを表現するためのものがなければコミュニケーションは成り立たない。そのため、単元を約1ヶ月、4回にわたり、前半を土台作り、後半を表現活動の場としている。

【第6学年の実践例：道案内をしよう】

前半では、身近な店の名前や建物、信号の言い方、左右や曲がるといった方向の表現の仕方を学習する。後半では、体育館を利用して、より実際の場面に近い状況を作り指示を聞いて動く活動を行った。さらに、各自に地図を渡し、ペアやグループになり、友達同士で学習内容を使い、道案内をして目的地に到着する活動を行った。自分が学習したことをアウトプットすることで、思いを相手に伝え、それが伝わったという充実感を達成することができた。完全に伝えることができなかったとしても、より近い場面で疑似体験をすることで、実際の場面に遭遇しても道案内をしたい、という意欲を持つことができた児童が多いことが自己評価から分かった。

3 特例校としての取組

＜低学年＞外国語活動は、本校の生活科の目標の1つである「人との関わり」に力を入れた。コミュニケーションの基本となる大きな声で話すこと、アイコンタクトの大切さ、表情などについて活動を通して学んでいった。低学年から、担任以外のALTと学習することは、児童にとっては貴重な体験である。英語でのあいさつの仕方や数の数え方、色や身近な食べ物の言い方などをALTと共に、ゲームをしながら、時には体を使い学習を繰り返した。

＜中学年＞中学年では、探求的な学習の1つとして、表現方法を増やす取り組みをしている。自分のことを表現するための活動では、好きなことをたくさん調べたり、家族を詳しく紹介をしたりするというを行った。また、知っていることを英語でどう表現するのかを意欲的に調べ、表現活動をした。さらに、外国の文化を深めるため、英語圏の行事に関するゲームを体験する活動をした。活動語は、学習した単元での自己評価を行った。単元ごとに行うことで、学習したことを振り返るとともに、その中から新たに考え調べたいという課題を発見するために、記述部分も取り入れている。（資料1）楽しいと感じたことを、英語活動の中で終わらせるのではなく、他教科との知識や経験、生活と結び付け問題意識を持つ探求心が深まっていった。

4 成果と課題

各学年も外国語活動（英語活動）には熱心に取り組み、児童も毎時間を楽しみにしている。一人一人が必ず1度は全体の前で表現する場を設けることで、充実感を味わったり、1時間を終えて、楽しかったと感じたりすることができている。その結果、校内でALTにすれ違ふと自然と英語であいさつをする、という切り替えができるようになった。また、本校ではあいさつの仕方に課題があったが、地域の方や他校の先生が来校した際にも積極的にあいさつをすることができるようになった児童が増えた。今後の課題は、6年間の中で、系統的に学習をするということを実践していくことである。学年があがるにつれ、学習内容を深め、さらに意欲を持続させながら授業展開を行えるよう努力をしていきたい。

黒内小学校 第2学年 英語活動案

授業者 HRT 山崎 由雅

ALT ドナルド アッシュ

題材名 「聞いたとおりに動こう」

学習活動・内容	・教師の支援 ●評価	
	HRT	ALT
1 あいさつをする。 2 ウォーミング・アップ - 風船を渡ししながら、3グループで素早くあいさつをする。 3 本時の表現を確認し、練習する。 ①Run, Jump, Laugh, Spin, Wave, Stop の基本表現を見聞きし、発音や意味を推測する。 ②全体で練習をする。 ③ダンスレボリューションゲームをして、体を使って練習する。 ④グループ対抗で、基本表現を用いてゲームをする。 8 本時の復習をする。 - Donald says を用いて本時のまとめをする。 9 終わりのあいさつ	- 一緒に活動し、楽しく学習する雰囲気を作る。 - やり方が分からない児童に声をかける。 - 基本表現で相手に質問をし、答えているかを確認する。 - 机間巡視しながら、児童と共に発音をする。 - うまく言えない児童の支援をする。 ● 相手の身振り手振りから、伝えようとしていることを理解しようとしている。 - やり方が分からない児童の支援をする。 - 大きな声で練習し、ジェスチャーも加えることを伝える。 - ALT の指示をよく聞き、ジェスチャーをするのか、しないのかを判断させる。	- 挨拶を行い、英語学習の雰囲気を作る。 - ウォーミング・アップの指示を出す。 - チームを作り、ゲームのやり方を説明し、風船をわたす。 - ジェスチャーを交えながら基本表現を伝える。(資料2) - 代表児童に1枚カードを渡しそのカードを見て、全体での練習をさせる。 - 基本表現に基づいたゲームを指示する。活動内容を英語で説明する。(資料3) - チームを作り、内容を説明する。 - 本時の表現を用いて、様々な指示を出す。 - 終わりのあいさつを元気にこなう。

黒内小学校 第6学年 外国語活動案

授業者 HRT 小林 綾乃

ALT ドナルド アッシュ

題材名 「できることを紹介しよう」

学習活動・内容	・教師の支援 ●評価	
	HRT	ALT
1 あいさつをする。 2 ウォーミング・アップ ・ペアになり素早くあいさつをする。 3 前時の復習をする。 ・I can～を用いて、バルーンゲームをする。 4 本時の表現を確認する。 ・Can you～?を用いて、ALT が言っていることを見聞きし、内容を推測する。 5 グループで、can you ～?を用いて練習をする。 ① カードを見て練習をする。 ② ジェスチャーを見て練習をする。 ③ 言われた番号のカードを見て練習をする。 ④ ①～③の内容を混合させて練習をする。 6 陣取りゲームをする。 ・2グループに分かれ、can you～?の文を言いながら、一人ずつ進んでいく。 ・残りの児童は自分たちのチームの文を大きな声で発音する。 7 英語ノートを使い、友達にインタビューをしてメモをする。 8 本時の復習をする。 ・使用したカードを用いて Can you ～?の文を復習する。 9 終わりのあいさつ	・一緒に活動し、楽しく学習する雰囲気を作る。 ・やり方が分からない児童に声をかける。 ・1つのチームに入り、活動に参加する。 ・机間巡視しながら、内容の理解が不十分な児童の支援をする。 ・聞き取れなかったり、やり方が分からない児童の支援をする。 ●相手の身振り手振りから、伝えようとしていることを理解しようとしている。 ・デモンストレーションを行い、児童が活動にスムーズに入れるようにする。 ・やり方がわからない児童に助言をする。 ・児童と一緒に声を出し、学習内容を復習させる。 ・児童と一緒に声を出し、次回への意欲につながるよう終わりにする。	・様々な挨拶を行い、英語学習の雰囲気を作る。 ・ウォーミング・アップの指示を出す。 ・3チームを作り、ゲームのやり方を説明し、風船をわたす。(資料4) ・ジェスチャーを交えながら、一人二役を演じる。 ・活動内容を英語で説明する。 ・英語で番号や英文を言う。 ・陣取りゲームのやり方を説明する。(資料5) ・英語で指示を出し、やり方を説明する。 ・使用したカードから何枚かを選び、リピートさせる。 ・終わりの挨拶を元気に行う。

資料１：第４学年自己評価カード

英語活動ふりかえりカード

出身国を質問しよう

質問	自己評価
自分と先生や友達と、積極的にゲームに参加した。	A+・B+
英語練習をしたやうに思えたか？(Yes/No)	
先生や友達と積極的に話せたか？(Yes/No)	A+・B+
自分の出身国を英語で言えたか？(Yes/No)	A+・B+
自分と先生や友達と、積極的にゲームに参加した。	A+・B+
英語練習をしたやうに思えたか？(Yes/No)	
先生や友達と積極的に話せたか？(Yes/No)	A+・B+
自分の出身国を英語で言えたか？(Yes/No)	A+・B+

先生から

英語活動ふりかえりカード

出身国を質問しよう

質問	自己評価
自分と先生や友達と、積極的にゲームに参加した。	A+・B+
英語練習をしたやうに思えたか？(Yes/No)	
先生や友達と積極的に話せたか？(Yes/No)	A+・B+
自分の出身国を英語で言えたか？(Yes/No)	A+・B+
自分と先生や友達と、積極的にゲームに参加した。	A+・B+
英語練習をしたやうに思えたか？(Yes/No)	
先生や友達と積極的に話せたか？(Yes/No)	A+・B+
自分の出身国を英語で言えたか？(Yes/No)	A+・B+

先生から

資料２：カードを使い、基本表現を練習



資料３：体を使ってゲームを楽しむ



資料４：ウォーミング・アップ



資料５：陣取りゲーム



外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立御所ヶ丘小学校

1 はじめに

守谷市の全ての小学校にA L Tが常時勤務することになってから11年が経とうとしている。現在の市内の小学生にとっては、入学時から学校にA L Tが勤務していることもあり、A L Tが身近にいることや外国語活動（英語活動）が週1時間行われることをごく自然なものと捉えている。そのため、A L Tとも抵抗なく自然に接することができる。

これまで通り、児童が楽しいと感じる気持ちを持続させながら、さらに積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちをもつことができるよう、外国語活動を展開していきたいと考えている。

2 実践

(1) 週1時間のEタイム

昨年度から引き続いて同じA L Tが配属されているため、児童もH R TもA L Tも良い意味でお互い慣れており、信頼関係を築くことができる。そのため、授業をスムーズに展開することができる。今年度は昨年度の活動内容を踏まえてさらにステップアップした内容で活動している。

(2) ワールドルームの整備

主にA L Tのアイディアで、A L Tの母国の様子を掲示し、ハロウィーンやクリスマスなどといったイベントごとにツリーを飾ったり、児童がEタイムで作ったかぼちゃを飾ったりといった工夫を凝らした掲示がなされている。（★資料1・資料2）

(3) 校内環境の整備

階段のスペースを利用して、アルファベットや動物の名前、色などの英語の単語を掲示し、自然と児童の目に触れることができるようにした。（★資料3）

3 特例校としての取組

＜低学年＞生活科のねらいに迫った取組

- ・簡単な自己紹介をしたり、自分の体調を伝えたり、相手に尋ねたりする表現を知る。（自分自身に関すること・自分と身近な人々とのかかわり）
- ・英語での天候の言い方、動物や昆虫の言い方、野菜や果物の言い方を知る。（自分と自然とのかかわり）
- ・ハロウィーンやクリスマスなどの文化に触れ、それらに関連のある活動を体験する。（自分と社会とのかかわり）

＜中学年＞総合的な学習の時間のねらいに迫った取組

- ・自らのことを話したり、相手のことを知ろうとして質問したりする。（自ら考える能力）
- ・グループ対抗のゲームや活動を行う。（協同的に取り組む態度）
- ・A L Tの母国の自然や文化について知る。（国際理解）
- ・ハロウィーンやクリスマスなどの文化に触れ、Jack-o'-lantern やクリスマスの飾りを制作したりする。（共同的・創造的に取り組む態度・国際理解）

4 成果と課題

- ・体を使った活動や製作を通して体験する活動が数多く取り入れられ、意欲的に活動する児童が多く見られた。
- ・同じ英語を、異なるパターンの活動に複数回取り入れることで何度も繰り返し触れることができ、児童が自信をもって英語を表現できるようになってきている。
- ・外国語活動（英語活動）を他のA L TやH R Tが行っている授業を参観する機会が一部の教員に偏った。

御所ヶ丘小学校 第1学年英語活動案

指導者 HRT 下田 京子

ALT Steve Aitchison

題材名 「What is it?」

◎は評価規準 (㊦コミュニケーションへの関心・意欲・態度,
㊦コミュニケーション能力, ㊦言語や文化につ
いての関心・理解・態度)

学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
	ALT	HRT
1 あいさつをする。 Good morning. How are you? I'm__.	・全体に挨拶をする。 ・まずALTが児童に質問し次に児童が教師に質問する。	・HRT自らが大きい声で挨拶をすることで模範を示す。
2 ウォームアップのゲームを行う。 ・ゲームのやり方を知る。 ・児童は5種類のカードのうち1枚を持つ。ペアで「How are you?」と質問し合う。同じカードが出たら終わり。全児童が終わるまで続ける。	・あいさつゲームをすることを告げる。 ・カードは5種類あることを伝え、児童に後について言うようにジェスチャーで示す。	・ルールの説明を日本語で補足する。 ・英語を話すことに消極的な児童に対して支援にあたる。
3 色の復習をする。(★資料4) ・前時までの学習を想起し、14色の名前をフラッシュカードを使い練習する。	・明るい青、濃い青や明るい緑と濃い緑などの違いを強調する。	・児童と一緒に楽しく練習する。
4 新しい形容詞を学習する。 ・小道具や絵を見て、大きい、小さい、おいしい、まずいなどの容詞を理解し、ALTと練習する。	・小道具を使って児童に紹介する。	・新しい単語なので、発音に分かりにくいときには発音の補助を行う。
5 果物と野菜のクイズを行う。 ・果物や野菜の写真とフラッシュカードを見て、それが何であるかを答える。	・写真やフラッシュカードを見せ、何であるかを尋ねる。 ・「それは(形容詞)(色)(もの)だ。」という文のパターンを教え、それを使って答えるよう告げる。	・児童一人一人に質問する。(半数の児童) ・児童の様子を見て日本語で補足を行う。
6 形容詞を使って果物や野菜を表す文を作るゲームを行う。 (1)形容詞・色・果物や野菜のいずれかカードを持つ。 (2)教室内を歩き、3種類のカードを持つ友だちを集められたら座る。 (3)それぞれのグループに対して、全員で尋ねる。 What is it?	・学習時間を確保するためにカードは前もって配っておく ・普通ではない面白い組み合わせでもよいことを認める。 ◎㊦果物や野菜を英語で表すゲームを通して、友達やALTと楽しくコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察)	・日本語ではなく英語で質問するようにさせる。 ・ゲームの進行を手助けする。
5 あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	・あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	・児童と共に元気にあいさつし、次時の活動への意欲付けを行う。

御所ヶ丘小学校 第2学年英語活動案

指導者 HRT 沼尻 政代

ALT Steve Aitchison

題材名 「Do you like 〜?」

◎は評価規準 (㊦コミュニケーションへの関心・意欲・態度,
㊧コミュニケーション能力, ㊨言語や文化につ
いての関心・理解・態度)

学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
	ALT	HRT
1 あいさつをする。 Good morning. How are you? I'm__. Are you__?	・全体に挨拶をする。 ・まずALTが児童に質問し次に児童が教師に質問する。 ・あいさつゲームをすることを告げる。 ・食べ物の写真を見せながら、それらを英語でどう発音するか確認していく。 (★資料5)	・HRT自ら大きな声を出し、模範を示す。 ・英語を話すことを躊躇している児童や、答え方に戸惑っている児童に寄り添い支援する。 ・発音の補助を行う。 ・児童に分かりにくい食べ物については日本語で簡単に説明する。 ・ALTの質問に対し、大きな声ではっきりと答え、児童の理解を促す。
2 新しい表現の練習をする。 (1) ALTとHRTのデモンストレーションを見る。 ・さまざまな食べ物の写真を見る。 ・ALTが質問し、HRTが答える。 Do you like (食べ物名)? Yes, I do. / No, I don't. (2) ALTの質問に Yes, I do. / No, I don't. で答える。 (3) ウォームアップのゲームを行う。 ・ゲームのルールを知る。 ・食べ物のカードのうち1枚を持つ。 ペアで「Do you like (食べ物)?」と質問し合う。自分の持つ食べ物名を質問されたら「Yes, I do.」, 異なる食べ物名なら「No」で答える。同じカードを持つ同士で座る。全児童が終わるまで続ける。	・何度か質問を繰り返すことで、発音やイントネーションを正しく言おうとしているか確認する。 ・HRTとのデモンストレーションを行うことでルールを確認させる。 ・ゲーム中はペアを見つけれない児童の補助にあたる。 ・ワークシート(★資料6)は一人一人手渡しをする。その際必ず、「Here you are.」と言い、「Thank you.」と答えるよう伝える。 ・日本語で質問しないことを確認する。	・しっかり声を出すよう全体を見る。声を出していない児童に声を掛ける。 ・児童の様子を観察し、必要に応じて日本語で補助する。 ・児童数が奇数なら参加しゲームに参加し、偶数なら補助にあたる。 ・ALTと共にワークシートを児童に手渡しする。
3 インタビューゲームを行う。 (1) 9つの食べ物の絵や写真が載ったワークシートを受け取る。 (2) ワークシートの食べ物について、「Do you like 〜 ?」を用いて好きか嫌いかをクラスメートに尋ね歩く。 (3) 「Yes, I do.」と答えたクラスメートの名前をその食べ物の下に書く。9か所全部に名前が入るようにインタビューを繰り返す。	◎㊦インタビューゲームを通して、友達やALTと楽しくコミュニケーションを図ろうとしている。 (ワークシート・行動観察)	
5 あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	・あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	・児童と共に元気にあいさつし、次時の活動への意欲付けを行う。

資料1 児童一人一人がクリスマスツリーの
オーナメントを制作している。



資料2 ワールドルームのEnglish Corner
A L Tの自己紹介や母国の様子を
紹介している。



資料3 階段に設けられたEnglish Corner
この階段は必ず全児童が通る。



資料4 1年生の英語活動の様子
色の言い方を復習している。



資料5 2年生の英語活動の様子
食べ物の言い方を教わっている。



資料6 2年生のインタビューゲーム用の
ワークシート



外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立郷州小学校

1 はじめに

本校では、外国や外国語への興味が高く、外国語（英語）活動の時間を心待ちにしたり、A L Tと進んで関わったりする児童が多い。入学前から幼稚園で英語に触れる経験をしたリ、放課後等に英語教室に通ったりする児童も比較的多く、英語を使って話そうとする児童も見られる。また、保護者の多くが、子どもに英語を身につけさせたいと考えており、A L Tの協力を得て、外国語（英語）活動の時間以外にも、休み時間や給食、清掃の際にもA L Tとふれ合う時間を確保している。

2 実践

本校では、児童の外国語（英語）や各国への興味・関心を喚起するため、主に以下のような取り組みをしている。

（１）世界のあいさつ

毎月１つずつの言語を取り上げ、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」などの言い方を掲示物にし、定期的に朝の会・帰りの会等で各国語のあいさつに触れるようにしている。



（２）校内掲示物

校内各所に国際理解を喚起するために、世界地図や各国にまつわる掲示物を掲示している。特に「英語ルーム」の廊下の掲示板に、世界地図と約１０カ国の国旗、国名、首都、人口、面積などが書かれた用紙を掲示し、世界地図の中からその国を探することができるようにしている。



（３）校内放送等における英語の歌鑑賞

県から配布されたＣＤ「歌と遊びで英語のシャワー」等を用いて、昼の校内放送や各クラスの歯磨きタイムなどに英語の歌を鑑賞している。

3 特例校としての取り組み

〈低学年〉「虫と仲良しになろう」での取り組み

教室にて、絵カード等を用いながら、虫の名前の英語表現を知った後、校庭に出て、虫探しをしながら、見つけた虫の名前を英語で言い、英語表現に慣れる活動を行った。

〈中学年〉「ハロウィーンを楽しもう」「クリスマスを楽しもう」での取り組み

A L Tから、母国でのハロウィーンやクリスマスの過ごし方を聞き、外国での行事の祝い方を知る活動を行った。また、ハロウィーン当日、休み時間にA L Tに「T r i c k o r t r e a t .」の合い言葉を話すと、キャンディの代わりにシールをもらえるという活動を行った。

4 成果と課題

（１）成果

低学年の「虫と仲良しになろう」では、校庭での虫探し中に見つけた虫を次々と「あつ、D r a g o n f r yだ！」などと英語で伝えていた。また、「あめんぼは何て言うの？」とH R Tに聞くなど、他の虫の呼び方にも興味を示した。

中学年の「ハロウィーンを楽しもう」では、キャンディ代わりにシールをもらうため、友達やH R Tに合い言葉を確かめながら、多くの児童が進んでA L Tに話しかけていた。

（２）課題

外国語（英語）活動の時間やA L Tとのふれ合いを通して、児童が間接的に触れる外国はA L Tの母国アメリカであり、児童がふれ合う言語は英語である。しかし、世界には様々な国々が存在し、英語以外にも様々な言語がある。児童の他国に対する興味を喚起し、視野を広められるよう、アメリカ以外の国々や英語以外の言語にもより多く触れる機会を図りたい。

単元名 「ハロウィーン (Halloween)」

〔◎…評価 〈手立て〉 …C評価児童への支援〕

時	活動・内容	支 援 ・ 評 価	
		HRT	ALT
5	1 はじめのあいさつをする。 “Good morning!” “Let’s sing a song.” —Ten little witches—	・児童と一緒に発音したり、歌ったりすることにより、児童が大きな声を出せるように促す。 ◎進んで英語であいさつをしたり、歌ったりしているか。(声・表情) 〈手立て〉 近くに行き、一緒に声を出しながら安心感を与える。	・日直の児童とともに始めのあいさつをする。スムーズな進行のため、日直の児童を助ける。
10	2 ウォームアップとして色集めゲームをする。 (1) 色の言い方を振り返る。 (2) 色集めゲームをする。 色集めゲームのルール ・一人3枚色カードを持つ。 ・じゃんけんをし、勝ったら相手に「Blue(Red, Yellow,...etc.) please.」と言い、ほしい色カードと交換する。 ・3枚とも同じ色を揃えたら終了。	・児童と一緒に活動で使う色を発音する。 ・ALTと色集めゲームのやり方を説明し、見本を示す。 ・ALTの説明で分かりにくいところがあれば補足する。 ・カードがうまく集められない児童を援助する。	・色カードを提示し、以前使った色の表現を確かめながら発音する。 ・HRTと色集めゲームのやり方を説明し、見本を示す。 ・児童と一緒に色集めゲームを行い、積極的に色カードを交換した児童を賞賛する。
27	3 ジャック・オー・ランタンを作る。 (1) ジャック・オー・ランタンについての説明を聞く。 (2) オレンジ色の画用紙をもらい、ジャック・オー・ランタンの形に切る。 (3) ジャック・オー・ランタンにつける顔のパーツを確かめる。 ・目 ・鼻 ・口 (4) ALTに自分の好きな色の画用紙を「Pink(Red, Yellow,...etc.)please.」と話してから受け取り、それぞれのパーツを切り、ジャック・オー・ランタンに貼り付ける。	・ALTの説明を聞く児童の反応を見ながら、必要に応じて補足する。 ・ALTの説明と実演について、必要に応じて補足説明する。 ・ALTへの話し方が分からない場合には、「Help me!」とHRTを呼び、作り方や表現の仕方を聞いてよいことを知らせることにより、適切な英語表現を使わせ、自信が持てるようにする。 ◎積極的にALTに話しかけ、自分の好みの色画用紙を受け取り、ジャック・オー・ランタンを作ることができたか。(声、動作、作品) 〈手立て〉 児童の隣で一緒に声を出しながら、英語表現の楽しさを味わわせる。 ・協力して片づけができるよう促す。 ・はじめの隊形に並び替えることを知らせる。 ・ALTのコメントを補足し、よかったところを賞賛する。	・欧米でのジャック・オー・ランタンの作り方、飾り方、今日は画用紙でジャック・オー・ランタンを作ることの説明する。 ・実際に画用紙を切ったり貼ったりして、ジャック・オー・ランタンの作り方を説明しながら実演する。 ・顔のパーツに必要な画用紙を渡す。 ・積極的にALTと話したり、工夫してジャック・オー・ランタンを作った児童を賞賛する。
3	4 本時のまとめと終わりのあいさつをする。 ・「listen」「speak English」「enjoy」の3ポイントで活動を振り返る。 ・終わりのあいさつをする。	・はじめの隊形に並び替えることを知らせる。 ・ALTのコメントを補足し、よかったところを賞賛する。	・3つのポイントについて、良かったところについてコメントする。

単元名 「買い物に行こう (Let's go shopping.)」

〔評価…評価 (手立て) …C評価児童への支援〕

配時	活動・内容	支援・評価	
		HRT	ALT
7	1 始めのあいさつをし、今日の日付や曜日、天気などを確認する。 “Good afternoon!” “How is the weather?” “What is the day?” “What is the date?” “What is the month?” “What is the year?”	・始めのあいさつ、今日の日付や曜日、天気などの確認をする。スムーズな進行のため、日直の児童を助ける。児童と一緒に発音し、児童が大きな声を出せるように促す。 ⑧進んで英語であいさつをしようとしている。 (声・表情) 〈手立て〉近くに行き、一緒に声を出しながら安心感を与える。	・日直の児童とともに、始めのあいさつをし、絵カードを提示しながら、今日の日付や曜日、天気などを確認する。スムーズな進行のため、日直の児童を助ける。
8	2 ウォームアップとして世界のあいさつゲームをする。 —— あいさつゲームのルール —— ・一人1枚ずつ国旗カードを持つ。 ・カードを持って回り、持っているカードの国のあいさつをし、カードを交換したら別れる。 ・10人の友達とあいさつし、カードを交換したら座る。	・児童に国旗カードを配る。 ・ALTの説明で分かりにくいところがあれば補足する。	・国旗カードを見せ、各国のあいさつの仕方を振り返る。 ・積極的に大きな声であいさつできた児童を賞賛する。
25	3 「買い物ゲーム」をする。 (1) 売り手・買い手が使う表現の仕方を振り返る。 《売り手》・Can I help you? ・～dollars please. ・Here you go. など 《買い手》・Do you have ~? ・How much is this? など (2) 売り手・買い手に分かれて「買い物ゲーム」を行う —— 「買い物ゲーム」のルール —— ・1グループ2～3人で活動する。 ・売り手と買い手に分かれる。 ・売り手は5つの品物を自分の店で売る。買い手が買ったら、お金を受け取り、商品のシールカードを渡す。 ・買い手は1グループに30ドル分の紙幣をもらう。各店を回って、様々な物を買う。物を買ったら、買い物かごシートに、商品のシールカードを貼る。 ・多くの物を買ったグループが勝ち。 ※各校のALTには、売り手と買い手の双方に加わってもらう。 (3) 各グループで買った物を確かめる。	・ALTと売り手・買い手のやりとりを示し、表現の仕方を振り返る。 ・買い物の表現が苦手な児童は、「Help me!」とHRTを呼び、表現の仕方を聞くことができると知らせることにより、ゲームで英語表現を使わせ、充実感が味わえるようにする。 ・教室全体を回り、売り買いの様子を見守ったり、声をかけたりする。 ⑧積極的に買い物ゲームに参加し、自分の意志を伝えることができたか。 (声、動作) 〈手立て〉児童のそばで一緒に声を出し、楽しさを味わわせる。 ・協力してゲームの片づけができるよう促す。 ・各グループがいくつの物を買えたか確かめ、賞賛する。	・HRTと売り手・買い手のやりとりを示し、表現の仕方を振り返る。 ・ゲームに楽しく参加すること、日本語ではなく英語を使ってゲームに参加することを指示する。 ・教室全体を回り、売り買いの様子を見守ったり、声をかけたりする。 ★資料1 商品カード ★資料2 買い物かごカード ・ゲームを終える時間になったことを知らせる。 ・各グループがいくつの物を買えたか確かめ、賞賛する。
5	4 本時のまとめと終わりのあいさつをする。 ・振り返りカードを用いて、活動を振り返る。 ・終わりのあいさつをする。	・始めの隊形に並び替えることを知らせる。 ・ALTのコメントを補足し、良かったところを賞賛する。	・良かったところを賞賛する。

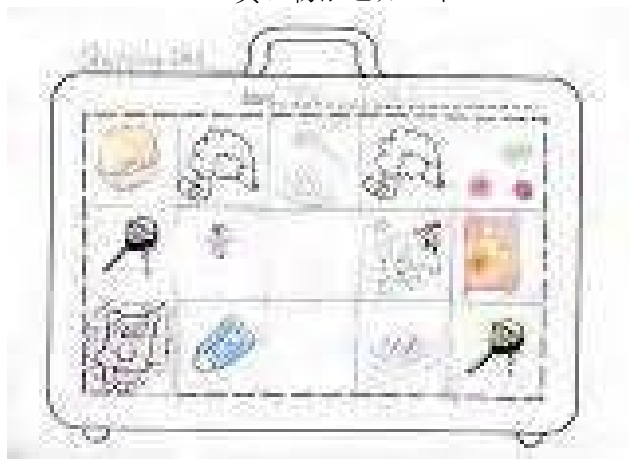
1年「ハロウィーン」授業風景



(資料1) 6年「買い物をしよう」
児童作成の商品カード



(資料2) 6年「買い物をしよう」
買い物かごカード



6年「買い物をしよう」授業風景



外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立松前台小学校

1 はじめに

本校の外国語活動（英語活動）は、守谷市の目標を受けて「外国語活動を通じて、言語、文化、生活、習慣などに対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ中で、児童同士が楽しく学び合える力を育成する。」を目標にしている。これまでの取り組みをふまえて、外国語を用いた活動の中で、さらに児童同士が話し合ったり、協力したりする活動を意図的に仕組み、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ってきた。

2 実践

まず、外国語活動（英語活動）の目標や活動について共通理解を図るために、校内研修を行った。独立行政法人：教員研修センターの「Enjoy English Together!」を視聴し、授業の進め方やチームティーチングのポイントについて確認した。そして、国際理解担当者が授業公開をし、指導の実際を全職員で研修した。

5・6年生の授業では、英語ノートを基本とし、さらに児童の実態に応じて、発展的な活動を行ってきた。第5学年では、「自己紹介をしよう」の単元で、ペアでの自己紹介活動をした後に、グループでの「キャラクタークイズ」や校内の先生方に関する問題をつくる「先生当てクイズ」を行った。

また、「外来語を知ろう」の単元では、英語の発音やリズムに慣れ親しむために、“What do you want?”を使用して、レストランゲームに挑戦した。（別紙：指導案）客と店員役を交代して行い、一人一人が注文場面を体験することができた。

3 特例校としての取組

〈低学年〉・身近な人々とのかかわり

単元名「たのしいあいさつをしよう」【元気にあいさつしよう】

簡単な英語を使って、あいさつのマナーを知り、積極的にあいさつをして、自分の名前を言う活動を行った。児童は、生活科の時間に名刺交換をしながらの自己紹介を行っていたので、英語でのあいさつの活動にも積極的に取り組むことができた。

〈中学年〉・探求的な活動

単元名「外国の行事を楽しもう」【ハロウィンを楽しもう・イースターについて知ろう】

A L Tから行事についての話を聞き、外国の行事に興味をもち、本やインターネット、パンフレットなどで、詳しく調べた。ハロウィンでは、行事で使うものや、モンスターなどについての理解を深め、家庭でも実際に行うなど、意欲の高まりが見られた。さらに3月には、イースターについて調べたり、日本の行事をA L Tに伝えたりする活動を計画している。

4 成果と課題

〈成果〉

- ・児童同士が話し合ったり、協力したりする活動を意図的に仕組んだことで、児童同士で助け合いや励まし合いをすることが多くなり、英語への不安が払拭されてきている。
- ・低学年では、生活科の時間で行う内容と重なる単元は、英語で行うことで、日本語とは違ったジェスチャーや表情など表現の幅の広がりがあった。

〈課題〉

- ・児童同士の関わりを広げる活動内容の工夫と探求的な活動を生かす単元構成について考えていきたい。

松前台小学校 第3学年英語活動案

指導者 HRT 黒羽 みどり

ALT ケビン デイビス

題材名「習い事を当てよう」

時間 (分)	活動 形態	活動内容	支援と評価 (○は評価)	
			HRT	ALT
5	一斉	1 始めのあいさつをする。 2 ALTの質問に答える。 How are you? How is the weather? What is this?	・あいさつに答える 児童を指名する。 ・答え方が分からない児童を支援する。	・あいさつ, 天気, アルファベットに 関する質問をする。
3	個人	3 友達とあいさつをする。 ・5人のミニティーチャーの質問に 答えたら着席する。	・ミニティーチャー を確認し, 質問の 仕方を一緒に練習 する。 ・進んでコミュニケー ションがとれない 児童の支援をする。	・話し方の分からない 児童の支援を行 う。 ・ミニティーチャー にポイントコイン を配る。
5	2人	4 キーワードゲームで, 習い事を表 す単語を確認する。 ・向かい合い, ALTがキーワード を発音したら, 消しゴムをとる。	・ルールの確認をする。 自信をもって 言うことができる よう支援する。	・カードを使って習 い事の単語を言 う。 ・キーワードゲーム のリードをする。
			○習い事を表す単語を意欲的に発音しよう としている。(観察)	
7	一斉	5 今日の活動を確認する。 習い事を当てよう! ・習い事のカードの中から友達の 選んだ習い事を当てるゲームを する。 () is learning ()	・ALTとともに手 本を見せる。 ・答える児童を指名 する。	・ゲームの方法を英 語で知らせるとと もに, HRTと手 本を見せる。 ・言い方が分かり ない児童に支援す る。
15	グル ープ	6 習い事を当てようゲームをする。 ・2名の児童が習い事をカードの中 から1つずつ選ぶ。 ・残りの児童は, 選んだ習い事を当 てる。	・ルールを守って意 欲的に活動ができ るように支援す る。	・自信をもって意欲 的に活動している 児童を賞賛する。
			○友達の習い事を当てたり, 自分の習い事を 話したりする活動を楽しんで行っている。 (観察)	
5	一斉	7 活動の振り返りをする。	・習い事の言い方を 確認し, 本時の活 動を振り返る。	・活動の中で, 良か ったこと, 感じた ことを話す。
5	一斉	8 あいさつ 9 ポイントカードにスタンプを もらう。	・片づけがスムーズ に行えるように声 をかける。	・終わりのあいさつ をする。 ・スタンプを押す。

松前台小学校 第5学年外国語活動案

指導者 HRT 大堀 玲子

ALT ケビン デイビス

題材名「外来語を知ろう」

時間 (分)	活動 形態	活動内容	支援と評価 (○は評価)	
			HRT	ALT
5	一斉 グループ	1 あいさつをする。 ALTの質問に答える。 2 あいさつゲームをする。 ・各グループで簡単な会話をする。 How are you? What () do you like? Do you have()?	・あいさつに答える 児童を指名する。 ・答え方が分からない児童を支援する。	・あいさつ, 天気, 日付, 曜日に関する質問をする。
3	2人	3 チャンツをする。 ・手遊びをしながら, リズムに乗って行う。“What do you want?”	・リズムに乗って楽しくできた児童を賞賛する。	・児童と一緒にリズムに乗って行う。
5	2人	4 キーワードゲームで, レストランのメニューを確認する。 ・英語のリズムを意識しながら, ゲームを行う。	・日本語から英語になったものは, 日本語読みでも良いことを確認する。	・英語のリズムを意識して, キーワードゲームのリードをする。
			○英語のリズムを意識して, 発話しようとしている。(観察)	
7	一斉	5 今日の活動を確認する。 レストランで注文しよう! ・英語ノートp. 39のCDを聞いて, 基本的な注文の仕方を確認する。 ・寿司, 枝豆, 刺身, 豆腐, すき焼きは, 一つだけ入れても良いこととする。	・今日の活動を話し, 意欲をもたせる。 ・CDを聞いた後使われていた表現を, 客とウェ이터に分けて確認する。	・CD42をかける。 ・児童がよく分からなかった表現をジェスチャーを交えながら, ゆっくり言う。 ・店員となって注文をとり, 提供する。
12	グループ	6 レストランゲームをする。 ・客側は, メニューの中からメインとデザート, 飲み物をオーダーする。 ・ウェ이터側は, 注文をとったものを厨房に伝え, 提供する。	・注文を相手に伝えられない児童の支援をする。	・英語のリズムを意識して注文している児童を賞賛する。
			○欲しいものを尋ねたり, 注文したりする活動を楽しんで行っている。(観察)	
5	一斉	7 活動の振り返りをする。 ・振り返りカードに反省をする。 ・英語のリズムで話す良さについて話し合う。	・振り返りのポイントを示す。	・活動の中で, 良かったこと, 感じたことを話す。
5	グループ	8 “Let’s listen to the friend story.” ・外国人の小学生の話を聞き取る。 ・グループでお互い聞き取ったことを伝え合う。	・名前, 年齢, 国などを聞き取るように話す。 ・グループで相談するよう話す。	・CDをかける。 ・小学生が言っていたことを簡単に確認する。
3	個人	9 あいさつ 10 ポイントカードにスタンプをもらう。	・片づけがスムーズに行えるように声をかける。	・終わりのあいさつをする。 ・スタンプを押す。

(資料1) 3年生「習い事を当てよう」の活動
2人組のキーワードゲーム



グループで習い事を当てるゲーム



(資料2) 5年生「外来語を知ろう」活動の様子 お客さんの注文を聞いて、食べ物を探しています。



(資料3) 活用した絵カード

メニューカードを見て注文するものを考えました。注文したものをランチョンマットに置きます。



外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立松ケ丘小学校

1 はじめに

本校では、週1時間の外国語（英語）活動の時間を「こくさい」と名付け、ALTとHRTとのTで授業を進めている。パワフルでユーモアあふれるALTの話しぶりに、児童は大喜びで元気に受け答えをしたりゲームに参加したりと、誰もが積極的に関わっている。

小学校において英語を使った言語活動やそれに伴う身体表現を十分に学ぶことは、英語でコミュニケーションする力の基礎となるだけでなく、子どもたちが人と関わる楽しさを実感し、その人間性や社会性をいっそう豊かにすることにもつながると考える。

2 実践

〈イングリッシュコーナーの設置〉

各教室及びオープンスペースや通路に、児童が自由に英語に親しむことができる国際理解のコーナーを設置した。学期毎に授業に関連する内容を掲示している。全児童が目にする通路には、国際理解に関するものをクイズにして掲示している。



〈保護者への授業公開〉

保護者の要望に応じて、授業参観で英語活動の時間を保護者に公開し、活動の様子を見てもらう。

〈6年生が先生になって1年生を教える〉

6年生が国際の時間にALTから教え方を学び、1年生に英語を教える。6年児童はグループ毎に教えることを分担して練習することで英語を学ぶ。

〈クリスマス集会〉

市内のALTをGTとして招き、5年生全体でクリスマス集会を行う。ALTの自己紹介やインタビュー、クイズやゲームなどで楽しく過ごす。

〈ふり回りカードの活用〉

授業の最後にふり回りの時間を設け、発表やカード、確認ゲーム等で授業についてふり返る。低学年では、月に1回、高学年では、毎時間カードを活用した。

3 特例校としての取り組み

〈低学年〉

生活科の時間と関連して、自然との関わりとしては、天気や生き物の名前を知り、歌やゲームを通して覚えていく活動を取り入れた。また、身近な人々との関わりとしては、自己紹介（名前や好き嫌いなど）や家族の紹介などを通して、友だちと仲良く挨拶する学習を取り入れて楽しく活動した。

〈中学年〉

総合的な学習の時間と関連して、様々な活動を通して外国の文化や生活への関心・意欲を深めることを目標とした国際理解の学習を取り入れた。世界の国々の位置を地図で確認しながら、国旗や貨幣、代表的な建物や人物、動物の写真等を英語で紹介していく活動を設定し、楽しみながら異文化理解が深められるよう工夫した。

4 成果と今後の課題

ALTと触れ合う機会が十分に確保できていることから、児童は英語に慣れて躊躇しないで話すようになってきた。リスニングの力もついてきている。

今後の課題としては、HRTが主となることができる外国語（英語）活動の時間を、1時間の流れの中に、より多く取り入れていくことを考えていきたい。そして、さらに、実践的コミュニケーション能力を効果的に育成するために、生活科や総合的な学習の時間との関連も含めて、年間計画を見直した研究を深めていきたい。

題材名 オリジナル・「食材」マップを作ろう！(Let's make original food maps!)

	学習内容及び活動	指導・支援の留意点（☆研究主題関連）◎評価	
		HRT	ALT
3	1 Greeting あいさつをする。 (1) 全体ではじめの挨拶をする。 Stand up. Stand nicely. Be quiet. Let's start. Bow. (2) Little teachers (児童2人) が前に出て、今日の体調や曜日、日付、天気などのQ&Aを行う。 Hello. How are you? - I'm ~ (fine/ good/ happy...) What day is it? - It's Friday. What's the date? - It's October 7 th How's the weather? - It's ~ (sunny/ cloudy/ rainy).	・笑顔で明るく挨拶し、楽しく授業が始められる雰囲気を作る。 ・Little teachersとして児童2人を選ぶ。マイクをもって児童の質問を促し、隣で一緒に発音しながら、自信をもって質問できるように支援する。	・明るく大きな声で声をかけ、児童が元気に挨拶できるようにする。 ・全体の様子を観察しながら児童の列の中に入る。Little teachersの質問と一緒に答えながら、各応答表現がスムーズに行えるよう支援する。
2	2 Warm Up ウォームアップをする。 ・歌『Super man』を歌う。	・声の出いていない児童のそばで一緒に歌い、安心して歌えるよう支援する。	・身体表現を付けながら児童と一緒に歌い、楽しい雰囲気を作る。
5	3 Review 活動で使う既習の英単語を復習する。 (1) 電子黒板で提示された画像の単語を瞬時に答える。 (2) ALTの答えを聞いて発音を確認し、再度発音する。 ※確認する既習単語の種類※ Colors (色), Shapes (形), Sizes (大きさ) Fruits (果物), Vegetables (野菜), Animals (動物)	・児童と一緒に発音しながら全体を回り、元気に発音している児童を称賛したり、口の開きや声が小さい児童にALTの口の形や発音を真似るよう声をかけたりする。	・PCを操作し、電子黒板で各画像を提示する。画像を部分的に見せたり、ズームしながら提示したりすることで、児童の意欲を喚起し、集中して発音できるようにする。
25	4 Presentation & Activities 本時の課題提示と活動。 「オリジナル・日本「食材」マップを作ろう！」 (Let's make an original Japanese food map!) ※活動のやり方※ ①3～4人のグループを作り、カードをひく順番を決める。 ②1番目の児童から、答え用マグネットを持参し、ALTの所にある番号カードをひく。カードを答え用マグネットシートに添付し、ALTから該当する県名と特産物のヒントとなる3つのキーワードを覚えてもらう。“I want some hints, please.” (ex.) Teacher's hints: Aomori, Fruit, Red, Circle ③グループに戻って、ALTから聞いた県名と3つのキーワードを友達に伝える。 (ex.) “Aomori, Fruit, Red, Circle” → “Apple” ④グループの友達と相談しながら、該当する県ピース（日本地図パズル）と特産物のピクチャーカードを探し、答え用マグネットシートに添付する。 ⑤1番目の児童が、HRTに答え用マグネットシートを見せ、県名と特産物を英語で伝える。“Aomori and Apple” ⑥正答した場合は、県ピースと特産物ピクチャーカードを黒板の日本地図に添付し、2番目の児童に答え用マグネットシートを渡す。誤答の場合は、HRTに再度ヒントをもらい、グループに戻って再度探してくる。 ⑦順番に②～⑥の活動を繰り返す。	・児童の様子を見て理解度を確認し、必要であればALTの補足説明を行う。 ・教室全体を回り、つまづいている児童をそばで励まししながら支援する。 ☆伝達する児童は、友達に分かるように大きな声ではっきりと発音するよう意識させる。ジェスチャーなども交えることでより伝わりやすくなることを思い出させる。 ・答えを確認し、正答の場合は称賛の声かけを行い、誤答の場合は再度ヒントとなるキーワードを伝える。児童が聞き取りやすいように、ゆっくり、はっきりと発音しながら、理解を促す。 ◎HRTやALT、友達と積極的にコミュニケーションを図ることができたか。（観察）	・本時の活動内容を説明する。 ☆楽しく活動するために、友達と相談する際も日本語ではなく英語やジェスチャーを使って伝え合うことを指示する。 ・児童のひいたカードの番号を見て、該当する県名と特産物のヒントとなる3つのキーワードを発音して聞かせる。 ・黒板の地図が完成したら終了の合図をならす。各グループの得点を確認し、順位を発表し、称賛する。勝敗にかかわらず、グループやクラス全員の協力で地図が完成したことを伝え、達成感を味わわせる。
10	5 End of Lesson 振り返りと終わりのあいさつをする。 (1) 今日の活動を振り返り、カードに感想を記入する。 (2) 次時の予告をし、終わりのあいさつをする。 Stand up. Stand nicely. Be quiet. Let's finish. Bow. Thank you, See you.	・活動に意欲的であった児童に感想を発表させることにより、今後の学習に対する意欲を喚起する。	・本時の活動で良かったところを具体的に認め、児童の英語に対する自信を高めるようにする。

題材名 世界をひとまわり！（Around the world）

	学習内容及び活動	指導・支援の留意点（☆研究主題関連）◎評価	
		HRT	ALT
4	1 Greeting あいさつをする。 （1）全体ではじめの挨拶をする。 「Stand up. Stand nicely. Be quiet. Let's start. Bow.」 （2）いろんな国々の名前を復習する。〈資料1〉 （3）国籍を尋ねたり、告げたりする表現を復習する。 「Where are you from?」 「I'm from _____.」 「Japan, Russia, India, Brazil, England, China, Italy.」	- 笑顔で明るく挨拶し、楽しく授業が始められる雰囲気を作る。 - 国籍を尋ねたり答えたりする表現と一緒に発音しながら、自信をもって質問できるよう支援する。	- 明るく大きな声で声をかけ、児童が元気に挨拶できるようにする。 - 質問と一緒に答えながら各応答表現がスムーズに行えるよう支援する。
9	2 Warm Up ウォームアップをする。〈資料2〉 （1）カードを持って皆と交流して国名の言い方を練習する。 （2）カードゲームが終わった児童は基礎的な英語練習をする。 「How are you?」 「How's the weather in (国の名前)?」 「What time is it in (国の名前)?」 「What day was it yesterday?」	- カードゲームの交流を通して発音がわからない児童のそばで一緒に応答できるよう支援する。 - カードゲームを終えて英語コーナーに集まった児童と一緒に学んできた英語を復習する。	カードゲームの交流を通して発音がわからない児童のそばで一緒に応答できるよう支援する。
30	3 「Around the World」の活動内容を説明する。 （1）8つのグループに分かれる。〈資料3〉 （2）国名が書いてあるワークシートに、ALTが出したヒントを元にしてカードの中から、その国に関係あるものを探す。 「I think it's _____.」 「I want _____.」 （3）HRTにチェックしてもらい、OKが出たら次のカードを探す。 （4）すべての欄にカードを揃えるまで繰り返す。	- ゲームの進め方を説明する。 - ゲームの答えを確認したり誤答のグループにヒントを出したりして学んできた英語を生かして学習できるように支援する。 - 児童の様子を観察し理解度が不十分の場合は補足説明を行う。 - 教室全体を巡視し、つまづいている児童には、ALTの口の形や発音を真似るように声をかける。 ☆自分の意見を英語で伝える児童は、ジェスチャーなどを交えて大きな声ではっきりと発音するようにする。	- ゲームの答えを確認したり誤答のグループにヒントをだしたりして支援する。 - 世界諸国の情報を集めている児童にそれぞれの情報がどの国の情報か推理させる。〈資料4〉 - 勝利にかかわらずグループの協力でゲームを進められたことを賞賛し、達成感を味わわせる。 ☆友達と相談する際も日本語ではなく英語やジェスチャーを使って伝え合うようにする。
2	4 Sticker Time とあいさつ （1）ゲームで優勝したチームを発表して、よく頑張ったチームにシールを渡す。 「Stand up. Stand nicely. Be quiet. Let's finish. Bow.」	活動に意欲的であったグループを発表することにより、今後の学習に対する意欲を喚起する。	本時の活動で良かったところを具体的に認め、児童の英語に対する自信を高めるようにする。



〈資料 1〉



〈資料 2〉



〈資料 4〉



□ 中学校実践事例 □

外国語の実践

守谷市立守谷中学校

1 はじめに

英語の授業においては「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の総合的な育成を図ることが課題である。本校の実態として、生徒は素直で真面目な生徒が多く、授業中は意欲的に活動している。「聞く」「話す」活動は比較的得意としている生徒が多い。英文を「読む」ことはできるのだから、その意味を理解すると言うことを難しいと感じたり、英文を「書く」ことに苦手意識をもったりする生徒が少なくない。4技能につながりをもたせた授業になるよう工夫すれば、生徒が比較的得意とする「聞く・話す」というコミュニケーション活動の中で高まった意欲や自信を持続させて、「読む、書く」活動につなげることで力をつけることができると考える。

2 実践

実践例として、第1学年では「Speaking Plus」、第2学年では「Let's Chat」を取り上げた。どちらも「聞く」「話す」活動を中心に行う題材だが、すぐにでも実生活に役立ちそうなものなので、生徒たちの今もっている想像力や表現力を最大限に駆使して、独自の英文シナリオを作ったり、発表したりすることで「書く」「読む」活動につなげた。ペア活動やグループ活動を通して、学び合いを主とした授業を行った。英語が得意な生徒が苦手とする生徒に教えることで、新しい表現に気づき、教えることの喜びや難しさを通して達成感を得たりすることができる。また、不得意な生徒も、教えてもらうことにより安心して学習に臨むことができ、弱点の補強につながると考える。また、授業はJTEとALTが、2～3人でTT指導や、少人数指導を実施しているため、個への指導を充実させることを通して、自信をもたせながらレベルアップを図るとともに、実践的コミュニケーション能力の基礎を培うようにした。

3 成果と課題

オリジナルの英作文を完成させた生徒たちからは「書く活動は難しくて、大変だけれども楽しい。」という声が聞かれるようになった。発表後の達成感や満足感を感じている生徒も少なくない。書く能力を高めるには、音読練習と書き取り練習が不可欠である。正しく書くためには、正しく聞き取り、話し、読むことが基盤となる。生徒が英語に苦手意識をもたないように、「書く」力を伸ばし、読んでいる英文が理解できるよう、4技能をバランスよく指導していきたい。

また、今後は生徒たちの自己表現力をいかに伸ばし、効果的に指導していき、いかに評価するかが課題である。英語に対する興味・関心を失わせないように指導・評価を工夫し、実践的なコミュニケーション能力の基礎を身につけさせられるような指導ができるよう研究と修養に努めたい。

守谷中学校 第1学年外国語指導案

授業者 JET 澤田 武志

ALT Blain Armsrtong

1 単元名 Speaking Plus 1

忘れ物一話しかける, 聞き返す, お礼を言う (NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1)

2 本時の学習

(1) 目標

- モデル対話を友達と積極的に演じたり, モデル対話の一部を変えて友達と協力して対話を考えようとしたりする。
- 相手の問いかけに対して, 答えたり聞き返したりすることができる。

(2) 展開

学習活動・内容	教師の指導と評価（◇教師の支援の手だて）	
1 あいさつをする。 2 本時の基本表現を確認する。 Excuse me. Pardon? Thank you. 3 本時の学習課題を確認する。	・元氣よくあいさつをし、学習の雰囲気を作る。 ◇基本表現の使い方を、教師がデモンストレーションをし、基本表現の使い方を確認させる。 ・本時の学習課題を知り、どのように取り組むかを理解させ、意欲的に授業に臨ませる。	
様々な場面での会話を練習し、実際に演技してみよう。		
4 モデル対話を練習する。 5 教科書の重要表現を確認する。 6 ペア活動を行う。 （1）お互いに役割を決めて、会話練習を行い、暗記をする。	◇会話の基本となる発音やイントネーションなどを意識させるように、教師自身も見本を見せるようにする。 ・意味を確実に理解させ、会話がより充実したものになるようにする。	
	JET	ALT
	・全体を見渡し、活動が滞っていないか確認をして、アドバイスしたり褒めたりしながら充実感を持たせる。	・発表を聞き、評価を行う。改善点はわかりやすくアドバイスをする。良かった点は、賞賛し意欲を喚起する。
（2）暗記ができれば、教師のところで発表を行う。発表中は発音、イントネーション、声の大きさに注意しながら行う。 （3）アドバイスを元に、次の会話練習を行い、暗記をする。	◇良かった点を褒めることで意欲を喚起する。また、必要なアドバイスをする事で、次の発表での向上につなげる。 ㊦相手の問いかけを理解し、応答することができる。（観察） ㊦感情を込めて質問したり質問に答えたりすることができる。（観察、ワークシート）	
7 全体で発表を行う。	・友達の良い発表を聞くことで、理解を深め、自分が次にどのように練習すべきかを理解させる。	
8 本時のまとめをする。	・各自で本時の活動を振り返らせる。	

守谷中学校 第2学年外国語指導案

指導者 T1 福元 エリ子

T2 中村 昌子

ALT Blain Armstrong

1 単元名 Let's Chat1 たずね返し方, あいづちのうち方 ～昨夜のテレビ番組～

(NEW HORIZON ENGLISH COURSE 2)

2 本時の学習

(1) 目標

- 適切な表現を使って, 相手にたずね返したり, あいづちをうったりできる。
- 身近な話題について, 友だちと会話を続けることができる。

(2) 展開

学習内容・活動		教師の指導と評価 (◇教師の支援の手だて)	
		T1 福元	T2 中村・ALT Mr.A
1 あいさつをする。 2 モデル対話を確認する。 3 本時の課題を確認する。		・繰り返し発音練習をし, 本時の学習につなげる。 ◇本時の学習課題を確認し, 意欲的に授業に臨ませる。	・支援が必要な生徒に個別指導する。
		英会話でのたずね返し方, あいづちのうち方を覚えて, 使ってみよう。	
4 少人数に分かれて学習する。 ・モデル対話を暗唱し, 発表する。 ・ワークシートを用いて, スキットを作る。 5 スキットを発表する。		・音読では, JTE は, アクセントやリズムに注意しながら大きな声で発音できるように支援する。 ⑨適切な表現を使って, 相手にたずね返したり, あいづちをうったりできる。 (観察, 発表)	・JTE は支援が必要な生徒に個別指導する。 ・ALT は机間指導を通して, 日本語読みにならないようにイントネーションに注意しながら支援する。
		・JTE は, うまく活動ができない生徒に対して, 進め方の助言や積極的に活動へ参加できるよう支援を行う。 ・発表の仕方をわかりやすく説明し, 生徒の意欲を高める。 ⑩身近な話題について, 友だちと会話を続けることができる。 (観察・ワークシート・発表)	・ALT は, より多くの生徒と会話ができるように指導をする。 ・発表の仕方をわかりやすく説明し, 生徒の意欲を高める。
6 本時のまとめをする。		・JTE は, 本時の学習の理解度や, コミュニケーション活動への取り組みを振り返らせる。	・JTE は, 本時の学習の理解度や, コミュニケーション活動への取り組みを振り返らせる。 ・ALT は, 生徒が積極的に活動した点を評価・賞賛し, 達成感をもてるようにする。

(資料1) スキットを作成している様子 (左: 1年生 右: 2年生)



(資料3) 全体で発表する様子



(資料4) 対話練習のためのヒントシート (2年生)

Let's Chat 1

2- No. _____ Name _____

質問者 1

Did you go to the beach?
(ビーチに行きましたか?)

Yes I did. Did you?
(はい、私も行きましたか?)

Yes I did. Did you have fun?
(はい、私も行きました。楽しかったですか?)

Oh, I had a good time.
(ああ、私も楽しかったです。)

Oh, I had a good time.
(ああ、私も楽しかったです。)

質問者 2

What did you do during summer vacation?
(夏休みの間は何をしましたか?)

I went to the beach. I played there.
(ビーチに行きました。そこで遊んでいました。)

I went to Tokyo Disney Land. I went to Osaka. I went to China with my friends. I saw fireworks.
(東京ディズニーランドに行きました。大阪に行きました。友達と一緒に中国に行きました。花火を見ました。)

I had a great time!
(とても楽しかったです!)

Oh, I had a great time!
(ああ、私も楽しかったです!)

Let's Chat 2 ~コメントのしかた~

Class No. _____ Name _____

1. 1 分間ノック

ペアになって自分の人が何を話したか、それを聞いて相手下書きの人がその英文を繰り返して下さい。最初は練習で、自分の名前を付けて、日本語を添えて書いて下さい。

1 What are you going to do this weekend? ..	今週末、何をするの?
2 I'm going to Tsukuba Zoo this weekend. ..	つくばのイヌアスに行く予定。
3 What are you going to do there? ..	そこで何をするの?
4 I am going to watch movie. ..	映画を観るつもり。
5 How about you? ..	あなたさま?
6 I don't have any plans. ..	特になし。
7 That's too bad. ..	それは残念だ。

1 聞き手	2 聞き手	3 聞き手	4 聞き手 (質問して)	5 聞き手 (質問して)
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名

2. Free talk

PT3 ToolBox を参考に自分の「週末の予定」を英文で書いてみよう。

外国語の実践

守谷市立愛宕中学校

1 はじめに

中学校における英語は入門期であるため自ずと基本的語彙や語法、音声面の定着を中心とした習得に関する多くの時間を費やすこととなる。生徒はそこで得た基礎的・基本的な事を組み合わせ、場面に応じた表現をすることにより、学習した言語材料を定着させることができる。活用する場を与えられることにより、基礎基本がより定着しやすくなり、その活用場面を通して、表現力も身についていくと考えている。

本年度の英語科では、日々の基礎基本を習得する活動にしっかりと時間をかけた上で、発信力を養うさまざまな output の場面を設定することで活用能力を育てることができると考え実践した。この活用能力が、実践的コミュニケーション能力の育成の土台となると考える。そのために、自分自身を表現する場面を設定し、習得した語彙や語法を用いて英語を実際に使う活動を計画的に行ってきた。C & C 活動 (Creative & Communicative) や Show & Tell, Speaking plus などの "plus" セクションでの活動を大切に授業を展開した。

また、本年度より県の推進事業である発音力の向上をねらったパソコンソフト「発音力」を導入し、各学年で授業に取り入れた。一斉授業では個人の発音練習を綿密に行うのは困難である。しかし、パソコンを用いて個人が各自のペースで練習を行えば、その都度評価を返してくれることもあり、生徒は意欲的に学習を継続することができた。

習得した知識を活用するために、これらの output の活動や、発音練習は効果があった。今後も英語を書いたり、話したり、演じたりする活動を続け、コミュニケーション活動に必要な基礎・基本を身に付けようとする意欲を継続させるための工夫をしていきたい。

2 実践

(1) Unit5 A Park or a Parking Area?

文と文をつなぐ働きをする従属接続詞を扱った。従属接続詞の中でも特に日常生活で活用できるものが that / because である。自らの意見を述べるとき、相手の意見を聞くとき、また意見の理由を述べるときには必須の表現となる。BOOK 3, Unit5 で、より本格的な「議論」を扱うが、ここでは、「賛成か反対かを自分の立場を決め、その理由を言う」活動を行った。

今回は定型文をそのまま用いる活動となったが、意見の述べ方を学ぶことで、多くの生徒が自分の思いを発信しようとする意欲を高めることができた。

(2) Speaking Plus 3 (道案内の英会話)

電車やバスを用いて、ある場所までの行き方をたずねたり、教えたりする対話を学んだ。「～までの行き方を教えてください。」「何駅ありますか。」「何線に乗ればいいですか。」とたずねる表現に親しむとともに、それに対する答え方も学習した。ペアでのやりとりを中心に何度も練習した後、自分たちの対話を作り発表させた。

英語に苦手意識をもつ生徒も、グループの中で友達の助けを得て、自分の分担に重点を置き、台詞の言い方に工夫をするなどする姿が見られるようになった。

3 成果と課題

既習事項を用いて、発表原稿を書く活動においては多くの生徒が意欲をもって取り組むことができた。必要に応じて未習の言語材料を用いてストーリーを展開する場面も見られ、楽しみながら自己を表現する活動ができた。また、グループ内での学び合いとしてリーダーシップをとることのできる生徒が皆の練習を助けたり、自分自身の台詞に集中し言い方に工夫を凝らしたりする生徒が見られるようになった。

口頭である程度やりとりができる生徒も、文字にすることを苦手とする傾向が見られる。毎時間の帯活動などを利用し、引き続き口頭練習のを継続させていくとともに、書き取り練習の時間を授業の中や、家庭学習で確保していく工夫をする必要がある。

1 題材名 Unit5 A Park or a Parking Area? (NEW HORIZON ENGLISH Course 2) **第2学年**

2 本時の学習

(1) 目標

『because…』を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。

『because…』の表現を用いて、ショートスピーチ・英作文にすることができる。

(2) 準備

カード (疑問文が書かれたもの), フラッシュカード

(3) 展開

⑦は評価, ★は個への対応

配時	学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
		JET	ALT
1	1 既習事項の復習 2 前時の復習 (1) 音読 Unit5 Starting Out から順に音読する。 (2) 英作文 JET が板書した和文を、英訳させる。 3 本時の学習内容を確認する。 学習課題 because 節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できるようにしよう。 4 新出文法の説明をする。 5 新出文法の練習 (1) 板書した和文を英訳する。 (2) 生徒を指名し、回答させる。 6 新出単語の確認 (1) ALT→生徒+JET の順で発音練習する。 (2) ALT がカード (英単語が書かれたもの) を掲示し、生徒のみで発音する。 (3) ALT がカード (日本語が書かれたもの) を掲示し、生徒のみで発音させる。 7 教科書の音読 (1) ALT→生徒+JET (2) ALT+生徒+JET (1) を3回, (2) を1回行う。 8 教科書の内容確認 (1) 本文を板書し、色チョークで書き込みを入れながら内容確認をする。	・既習の表現を用いた問いが書かれたカードを利用し、コミュニケーション活動を行う。 ・対話を通して英語学習への意欲を高める。 ・教科書の音読 (ALT→JET+生徒) をする。 ・英作文 (自主作成問題3問) を板書し、ノートに書くように指示する。 ★自力で英訳できない生徒のために、時間の経過とともにヒント (語数等) を板書していく。 ・課題を板書し、本時のねらいを確認できるようにする。 ・従属接続詞 because について板書し、説明する。 ・because について英作文 (自主作成問題2問) を板書し、ノートに書くように指示する。 ★自力で英訳できない生徒のために、時間の経過とともにヒント (語数等) を板書していく。 ・フラッシュカードを用いて、新出単語を確認する。 ・生徒と一緒にリピートする。 ・モデルを示し、リピートさせる。 ・生徒と一緒にリピートする。 ・モデルを示し、リピートさせる。 ・読み方を変えて何度も練習できるようにする。 ・本文を板書し、内容を確認する。 ★生徒を指名し、質問しながら教師、生徒が共に内容理解をすることで、滞ることなく内容を理解することができるようにする。 ⑦ because 節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できるようになったか。 (観点①②: 観察)	

2 本時の学習

(1) 目標 乗り物で行き方をたずねたり、教えたりするオリジナルのスキットを作ることができる。

(2) 準備・資料

ワークシート、自己評価カード、パソコン、プロジェクター

(3) 展開

(評)は評価, ★配慮を要する生徒への手だて

時間	学 習 活 動・内 容	指導上の留意点・評価	
		J E T	A L T
1	1 あいさつ Good morning. How are you? I'm fine, thank you. And you ? etc.	・大きな声であいさつし、英語学習の雰囲気をもたせる。	
7	2 クリス・クロスゲーム What time did you get up this morning? What are you going to do this evening? etc.	・既習の表現を用いた一問一答の対話を行う。 ・JET と ALT が交互に質問する。	
40	3 本時の学習内容を確認する。 学習課題 乗り物での道案内のスキットを作ろう。	・課題を板書し、本時のねらいを確認できるようにする。 ・モデル対話を行い学習内容をイメージさせる。 ・改札口の対話、ホームの対話、守谷駅での対話などを聞かせる。 ・意味の確認を速やかに行う。 ・音読の指示をする。リピート、役割、自力など。 ★読み方の指導を個別におこなう。 ・読めない単語の読み方を指導する。 ★慎の台詞の方が難易度が低いことを助言する。 ★早く暗唱できた人はジェスチャー、声のトーンなどの工夫をするよう助言する。 ・教科書にサインして合格を賞賛する。	・本時の課題を優しい英語で生徒に伝える。 ・"I"の発音に注意を促し練習する。 ・実際の会話のように表情豊かに範読する。 ・発音の仕方を指導する。 ・表情豊かに範読しモデルを示す。 ・自然な早さで、生徒の後にリピートする。
	(1) 教師がいろいろな場面の対話を見せる。 (2) 新出語句の確認をする。 line, red, track, change (3) 対話の音読練習 ・ALTの後に続いて1文ずつ丁寧に読む。 ・役割を変えて練習する。 ・各自が自力で全文を読む。 (3) 対話の暗唱をする。 ・女性と慎の役を決めそれぞれの台詞を暗唱する。 ・教師にチェックを受ける。 (4) その他の表現を練習する。 ・乗り物についてよく使う表現 get on, get off, How much is the fare to Shibuya? How often do the trains come? They come every ten minutes.など。 (5) スキットを作る。 ・2人1組のペアで教科書を参考にオリジナルのスキットを作る。 ・スキットができたグループから練習を始める。	・生徒と一緒にALTをまねてリピートする。 ・表現としては初出だが、未習語は少ないので、読み方、意味の確認を速やかに行う。 ・机間指導を行う。 ・未習の表現も積極的に使うよう助言する。	・自然な表現となるよう助言する。
2	4 次時の学習内容を知る。	(評) 場面を理解し、既習の表現を用いてスキットを作ることができたか。 (観①④): ワークシート, 観察)	
		・よかった点を上げ、本時の活動を賞賛する。 ・次時は、友だちに伝えるよう工夫してスキットの発表を行うことを予告し、意欲の継続を図る。	

(資料1) 授業の様子



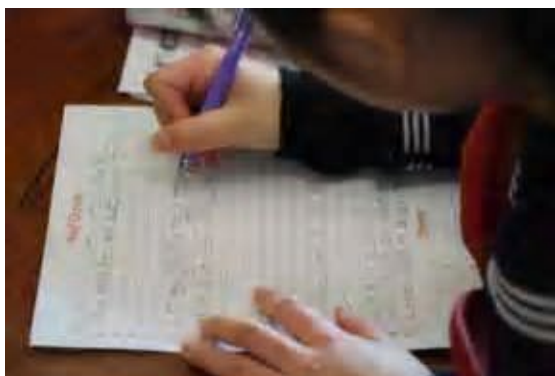
Show & Tell



C&C



Warm-Up



(資料2) 評価カードと原稿の例

英語活動 評価カード

1. 自己評価

項目	達成状況	達成状況	達成状況	達成状況	達成状況
① 目標を達成する。					
② 目標を達成する。					
③ 目標を達成する。					

2. 教師の評価

項目	達成状況	達成状況	達成状況	達成状況	達成状況
① 目標を達成する。					
② 目標を達成する。					
③ 目標を達成する。					
④ 目標を達成する。					
⑤ 目標を達成する。					
⑥ 目標を達成する。					
⑦ 目標を達成する。					
⑧ 目標を達成する。					
⑨ 目標を達成する。					
⑩ 目標を達成する。					

Another version:

There is a boy, that sells apples. He is in front of the market. He has small sandwiches on his feet. A robot likes at the flat bread. She has no money. She gives him a pretty ribbon. They say goodbye.

YOUR VERSION:

1. 目標を達成する。

2. 目標を達成する。

3. 目標を達成する。

4. 目標を達成する。

5. 目標を達成する。

6. 目標を達成する。

7. 目標を達成する。

8. 目標を達成する。

9. 目標を達成する。

10. 目標を達成する。

11. 目標を達成する。

12. 目標を達成する。

13. 目標を達成する。

14. 目標を達成する。

15. 目標を達成する。

16. 目標を達成する。

17. 目標を達成する。

18. 目標を達成する。

19. 目標を達成する。

20. 目標を達成する。

21. 目標を達成する。

22. 目標を達成する。

23. 目標を達成する。

24. 目標を達成する。

25. 目標を達成する。

26. 目標を達成する。

27. 目標を達成する。

28. 目標を達成する。

29. 目標を達成する。

30. 目標を達成する。

31. 目標を達成する。

32. 目標を達成する。

33. 目標を達成する。

34. 目標を達成する。

35. 目標を達成する。

36. 目標を達成する。

37. 目標を達成する。

38. 目標を達成する。

39. 目標を達成する。

40. 目標を達成する。

41. 目標を達成する。

42. 目標を達成する。

43. 目標を達成する。

44. 目標を達成する。

45. 目標を達成する。

46. 目標を達成する。

47. 目標を達成する。

48. 目標を達成する。

49. 目標を達成する。

50. 目標を達成する。

51. 目標を達成する。

52. 目標を達成する。

53. 目標を達成する。

54. 目標を達成する。

55. 目標を達成する。

56. 目標を達成する。

57. 目標を達成する。

58. 目標を達成する。

59. 目標を達成する。

60. 目標を達成する。

61. 目標を達成する。

62. 目標を達成する。

63. 目標を達成する。

64. 目標を達成する。

65. 目標を達成する。

66. 目標を達成する。

67. 目標を達成する。

68. 目標を達成する。

69. 目標を達成する。

70. 目標を達成する。

71. 目標を達成する。

72. 目標を達成する。

73. 目標を達成する。

74. 目標を達成する。

75. 目標を達成する。

76. 目標を達成する。

77. 目標を達成する。

78. 目標を達成する。

79. 目標を達成する。

80. 目標を達成する。

81. 目標を達成する。

82. 目標を達成する。

83. 目標を達成する。

84. 目標を達成する。

85. 目標を達成する。

86. 目標を達成する。

87. 目標を達成する。

88. 目標を達成する。

89. 目標を達成する。

90. 目標を達成する。

91. 目標を達成する。

92. 目標を達成する。

93. 目標を達成する。

94. 目標を達成する。

95. 目標を達成する。

96. 目標を達成する。

97. 目標を達成する。

98. 目標を達成する。

99. 目標を達成する。

100. 目標を達成する。

外国語（英語科）の実践

守谷市立御所ヶ丘中学校

1 はじめに

本中学校の英語科研究主題は、「4技能のバランスを考えた授業展開の工夫」である。この研究主題は、来年度から本格的に導入される新学習指導要領の趣旨に基づいている。実際に生徒達が遭遇する場面に即した学習課題（タスク）を設定し、教師と生徒、生徒間のコミュニケーションを通して、「話すこと」と「聞くこと」に主眼が置かれていた現学習指導要領に対して、新学習指導要領では、言語の4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」技能を統合的に指導する重要性が示されている。小学校での外国語活動や高等学校の英語学習への連携も鑑み、中学校では、4技能の能力を同時にバランスよく高める指導を工夫することが求められていると考える。

4技能のバランスや統合性を高める授業を展開するために、本校英語科では、『動』ではじまり、『静』で終わる授業を目指して」という副題を設定した。この流れは、ひとつの授業の流れも意味するが、同時に単元全体の流れや本校3年間を通した英語科が目指す学習の流れでもある。教師や生徒達が英語によるコミュニケーションを通して基礎・基本を学ぶ。そして、既習の知識を思考しながら自分の表現したいことをアウトプットしようとし、さまざまな事象に対して自分の思いや意見を英語で伝えることができる生徒の育成を、本校英語科では目指している。

2 実践

本報告では、1学年と2学年の取り組みについて紹介する。

1学年の授業実践では、小学校の外国語活動と大きく異なる授業として、「書く活動」を主眼とした授業を試みた。第2・3文型程度の短文を用いて、生徒達が知りたい内容を英文で書いてALTへ質問し、情報を得ていくコミュニケーション活動である。「話す活動」を中心に据えながら、口頭表現から記述表現へと移行させる学習活動であるのに対し、2学年の授業では、「書く活動」から口頭表現へと移行させる学習活動を含む授業を展開した。

2学年では、学習する英文が1学年と比較して長文化し、複雑化する。本報告での2学年の授業実践は、接続詞の用法を定着するための文法習得活動で、学習した知識を活用して順不同の単語を正しい英文をつくりだすグループ活動である。この学習活動において、生徒は正しい英文をつくりだす（「書く」）ために、1）単語の意味、2）英語の語順、3）接続詞を用いるための用法、そして、4）つくった英文全体の意味も考える必要があるため、1学年の書く活動より難易度の高いアウトプット活動であると言える。また、教師達（JTEとALT）の前では、つくった英文を読み上げる活動も設定し、1つの授業の中で「書く活動」と「読む活動」という2種類のアウトプットを生徒に課している。

3 成果と課題

本研究主題は、今年度で3年目の継続主題である。「話したり」「聞いたり」する動的な学習活動に加え、「書く活動」や「読む活動」を統合的に取り入れた授業実践を全学年で模索している。その結果、インプットした言語材料をアウトプットする際に、英語の語順や文法に注目して、思考を伴わせながら英語を産出する場面（静的な学習活動）が多くなり、本校の研究主題のキーワードである「学び合い」が必然的に生じる授業も展開できるようになった。

しかし、この3年間を振り返ると、中学校3年間を系統化した英語科としての授業実践が不十分であることは明らかである。3年間を見通した学習目標や、継続性をもった学習活動の具現化が必要であると考ええる。新学習指導要領が来年度から正式導入されることから、生徒の英語を表現したいという意欲の向上と同時に、4技能を統合的に捉えた授業の展開の工夫が、本校の今後の課題である。

御所ヶ丘中学校 第1学年英語科学習指導案

授業者 JTE1 三浦 優子
JTE2 鈴木 優子
ALT Matthew Hixson

- 1 単元名 Unit 6 グリーン家の人々 (三人称単数現在形)
2 本時の学習

(1) 目標

聞く・話す・書く活動が含まれたクイズを通して、三人称単数現在形の表現を身につける。

(2) 展開

(・:指導上の留意点 ☆:ALTが行う支援)

【学習活動】	【留意点】
(Warm-up) - 英語であいさつする。 - ウォームアップとして、英語でのQA行う。 (課題把握) クイズで三人称単数現在形の使い方を復習しよう。 - クイズに必要な表現を、ワークシートを使って学習する。 - 全体で答え合わせをし、音読練習を行う。 - 教師のデモンストレーションを聞いて、クイズのやり方を確認する。 (課題に取り組む) グループ対抗で、Jeopardy形式のクイズ大会を行う (まとめ) 本時の重要表現をワークシートにまとめ、自己評価カードを記入し、本時の振り返りをする。	☆簡単な英語でのQAに全員が答えられるようにする。 - クラスを三分割して、教員が一人1グループ担当する。 ☆ワークシートをチェックする。 - 分からない場合には教科書やワークを見てもいいことを伝える。 ☆音読練習で重要表現の定着を図る。 ☆英語によるデモンストレーションを通して、活動の見通しが持てるようにする。 [Jeopardyの進め方について] ①生徒はSports, Food, School, Characterの中からカテゴリをひとつ選ぶ。 ②次に得点を選ぶ。 ③ALTが言語活動(Listening, Speaking, Writing)を選ぶ。 ④ALTの質問に対して③で選んだ言語形式で答える。 ・本時の学習内容が定着したか確認する。 ☆ALTの観点で、すばらしい学習活動をしていた生徒を賞賛する。

1 単元名 Unit 5 A Park or a Parking Area? (接続詞)

2 本時の学習

(1) 目標

- ・接続詞の種類 (if, because, when) を用いて、級友と協力し合いながらこれらの語を用いて文を完成させ、その意味を理解することができる。
- ・接続詞を用いて、自分の思いを書くことができる。

(2) 展開 (・：指導上の留意点 ☆：ALTが行う支援)

【学 習 活 動】	【支援・援助】
(課題把握) 接続詞を使って、文を作ろう。 (課題に取り組む) 競馬ゲームの方法を知る ① 4人組をつくる。 ② 教師の机上から1つの封筒を班に持ち帰る。 ③ 封筒内の語を、意味が通じるように並べ替え、用紙に書き込み、日本語の意味も書く。 ④ 班の1人が、教師の前で作った英文を読み、日本語意味も伝える。→正解：班の馬が前に進む。別の封筒を持ち帰る。 →不正解：再度班で考え直す。 ⑤ 馬が早くゴールに着いた班(全部の英文を完成させる)が勝利。 競馬ゲームに取り組む (まとめ) ワークシートに取り組む 3種類の接続詞が含まれている英文に、自分の思いや考えになるように自由に文をつくる。	・前時の復習として、3種類の接続詞の意味を確認する。 ・4人グループには、必ず学習リーダーが含まれるように班編成に配慮する。 ☆ALTがゲームの説明をする。その後、グループでALTの説明の内容確認をし、不明な点について質問をする。 ・JTEは、生徒の質問をALTに伝え、再度ALTは表現を変えて説明する。 ☆グループで作成した英文は、ALTの前で制限時間内に一人の生徒が読み上げる。英語の表現としてふさわしくない場合は、具体的なアドバイスを添える。 ・JTEは協力してゲームに取り組んでいるグループを称賛し、一方で非協力的なグループには、学習リーダーを中心に取り組むことを助言する。 ・学習リーダーには、グループの助言者としての活躍を称賛したい。 評価1 級友と協力しながら楽しんで英文をつくろうとしている。 (観察) ☆ALTは机間指導をし、よく書けている文を紹介し称賛する。 評価2 接続詞を用いて、自分の思いや考えを書くことができる。(観察・ワークシート)

(資料 1) 1 学年の授業において使用したクイズ前に使用した練習用ワークシート

Unit 6 クイズで三人称単数現在形の使い方を復習しよう。..

Class: _____ No: _____ Name: _____

(1) 彼は先生ですか。 _____ he a _____ ?..

(2) 彼女は日本出身ですか。 _____ she _____ Japan?..

(3) 彼は若いですか。 _____ he young?..

(4) 彼は背が高いですか。 _____ he tall?..

(5) 彼は犬が好きですか。 _____ he _____ dogs?..

(6) 彼はサッカーをしますか。 _____ he _____ soccer?..

(7) 彼女は英語を話しますか。 _____ she _____ English?..

(8) 彼女はアメリカに住んでいますか。 _____ she _____ in America?..

(9) 彼女は数学を教えていますか。 _____ she _____ math?..

(10) 彼はどこでもドアを持っていますか。 _____ he _____ a Dokodemo door?..

(11) 彼はメガネをかけていますか。 _____ he _____ glasses?..

(12) 彼女は髪が長いですか。 _____ she _____ a long hair?..

(13) 彼は何のスポーツをしますか。 _____ sport _____ he play?..

(14) 彼女の好きな食べ物は何ですか。 What's _____ food?..

(資料 2) 1 学年の授業で使用した自己評価

★自己評価★ あてはまるものに○をつけよう。 □Aーはい □Bーまあまあ □Cー全然..

積極的にクイズに参加することができましたか。 → A□□□ B□□□ C..

グループで協力することができましたか。 → A□□□ B□□□ C..

□今日の授業でがんばったことを書こう。..

(資料 3) 2 学年の授業で生徒に作成させた接続詞を含む英文

No.	Answers of sentence jumble	Points
1	I think that <u>my grandfather's story sounded interesting</u> .	3
2	If the supermarket is open, we are going to go there.	2
3	When I want to learn a word in English, I must use <u>my dictionary</u> .	3
4	You look tired because you <u>played basketball</u> for two hours.	2
5	I don't think that Mr. Green has his car.	3
6	I can't go to <u>my friend's house</u> because I have to study.	2
7	Ms. Nishio ate all of <u>pizza</u> because she was very hungry.	3
8	They must study a foreign language if they want to travel to another	4
9	I couldn't have lunch because I was not hungry.	3
10	I hope that you will be a policeman in the future.	2
11	Ms. Nishio and I <u>laughed at the joke</u> because it was very funny.	4
12	We don't have to use an umbrella when it is sunny.	2
13	Do you want to go to Kyoto if you have much money?	2
14	If she wants to pass the exam, she <u>must study hard</u> .	4
15	I hear that Greg is good at singing songs.	2
16	We want to open the window because it is very hot.	2
17	We think that Ms. Nishio is kind to us.	2
18	When you and I were children, we went to the park every day.	3
19	Could you read this letter for me if you have time?	2
20	What do you like to do when you have free time?	4

外国語の実践

守谷市立けやき台中学校

1 はじめに

－本校の取り組みの重点等

- (1) 取り組みの重点
 - ・基礎基本、思考力、判断力、表現力の育成のために多様な学習活動を工夫・展開する。
(話し合い活動、表現活動の充実)
 - ・居場所のある学級づくり、特別活動の活性化を図る。
- (2) 研究主題
主体的に考え、表現しようとする生徒を育成する学習指導の在り方
－各教科における言語活動の充実を通して－
- (3) 教科目標
基礎・基本を活用し、自ら考えを相手に伝える「発信力」を育成するための工夫
～英語の基礎・基本「読み・書き・文法」の確かな定着を図り、
自己表現につなげていく授業を通して～

《 本年度の重点課題 》

- ア 英語の基礎・基本の確かな定着
- イ 習ったことの活用・発信方法の具現化
- ウ 自主学習（予習・復習）を含む学び方の指導
- エ 評価の工夫

アの具体的方策

- 観点別単元テストの有効利用
- 単語テスト（単元ごとに継続）
- 音読テストの定期的実施
- 自学（復習）ノートの有効活用（単語・文型練習）
- ①③単語ビンゴの実施（読む・聞く・書く力）
- ①②インプット活動（単語・本文の暗記等）への取り組み
- ①英語通信による単語・基本文の定着
- ①③新出文法を含む英語の歌の導入

イの具体的方策

- ワークシートの工夫（自己表現部分）
- 自己表現単元を利用した作品作り
- ①週末課題（トピックライティング等）
- ① Story Telling
- ②③ Small Talk（自己表現）
- ②自由英作文（授業用ノート）
- ③身近なテーマについての会話（2分間チャット）
- ③3文即興スピーチ（グループ活動）

ウの具体的方策

- 予習・復習の仕方の提示
- 使えるノート作りの指導
- 授業における約束事

エの具体的方策

- 評価規準の生徒への提示
- 多様な評価方法による評価の信頼性向上
- 定期的なノートチェックと励まし
- ALTの有効利用（スピーキングテスト・選択英語等）

2 実践

けやき台中学校 第1学年外国語指導案

指導者 小針 淳一

1 単元名 Multi Plus β 「ほかの人を紹介しよう」(New Horizon English Course 1)

2 本時の学習

(1) 目標

スピーチの約束に従い, 紹介文を書き,それを発表することができる。

(3) 展開 (○は研究主題に迫るための具体的な手立て, ○評は評価を表す)

時間	学習内容および活動	指導・支援上の留意点
2 分	1 あいさつをする	・曜日, 日付, 天候, 時刻を毎回質問することにより基本的な英単語の定着を図る。
5 分	2 今月の歌をうたう。	・リラックスさせながら, 英語の音やリズムに触れさせことで発音の向上と英語学習の雰囲気を作る。
8 分	3 英単語ビンゴをする。	・新出単語を「聞いて分かる」「なぞって覚える」ようにビンゴを行う。
2 分	4 学習のめあてを確認する。	・本時の活動内容を示し, 何ができればよいかという活動の見通しをもたせる。
2 分	英語でほかの人を紹介するスピーチをしよう	・以前行った「自己紹介文」のスピーチをする上での大切な点を再度伝え, 暗唱との違いを再認識させる。
	5 「これがスピーチだ!」を再確認する。 1. clear voice 2. eye contact 3. smile	
5 分	6 ペア練習をする。	・ペア練習ができる形態にする。 ○スピーチをする上での大切な点を再確認させるためにペアで練習させ, お互いに必要なアドバイスをする。 ・時間を区切って練習させたり, ペアを替えたりすることで, スピーチをする意識を高める。 ㊦ スピーチする上で大切な点を意識しながらペア練習をすることができる。(観察・ワークシート)
20 分	7 一人ずつスピーチをさせる。	・大切な点をすべてこなすことができない生徒には, どれか1つに絞って努力するように助言する。 ・1人で発表させることで, 各自の練習の成果を発表者および聞き手の立場から確認させる。 ○スピーチ中は話し手を見て, 内容を聴き取るように指示する。 ○スピーチごとに日本語で簡単な質問をすることで, 聞くことへの意識を高めさせる。 ・スピーチが終わるごとに全員で拍手や言葉での賞賛をする。 ㊦ スピーチの内容理解が十分かを確認する。(観察・ワークシート) ・理解が十分でない生徒には, 聴き取るためのキーワードをいくつか与え, 内容理解につながるポイントを考えさせる。
3 分	8 Who's Who Quizをする。	・内容理解が十分な生徒には, 良き聞き手となるために, さらによい態度やしぐさなどを考えさせる。
3 分	9 本時のまとめをする	・名前のないスピーチ原稿を配り, どの原稿が誰のものか当てさせる。 ・意欲的な活動を賞賛し, 次時以降の学習の動機付けとする。

けやき台中学校 第3学年外国語指導案

指導者 JTE 秋場 義明
ALT James Mallion

1 単元名 Multi Plus 3-B わたしのオススメ飲食店 (New Horizon English Course 3)

2 本時の学習

(1) 目標

既習事項を活用してスピーチをしたり，提示された話題についての英文を書いたりすることができる。

(2) 展開 (○は研究主題に迫るための具体的な手立て，㊦は評価を表す。)

時間	学習活動および内容	指導・支援上の留意点	
		JTE	ALT
2分	1 あいさつをする。	・英語を学習する雰囲気を作ると同時に既習表現の定着を図る。	・生徒に質問する。
4分	2 今月の歌をうたう。	・必要に応じてALTや生徒たちの手助けをする。	
9分	3 3文即興スピーチをする。 (4人グループ)	・現在分詞の後置修飾表現が出てくる “Only Yesterday”を歌う。 ○表現が不得意な生徒に対しては，ヒントを利用したりグループの友だちに進んで聞くよう助言する。 ㊦何とか相手に伝えようと努力している。(観察)	・活動に参加し，必要 なときには援助をする。
6分	4 本時の学習課題をつかむ。 自分のオススメ飲食店を紹介しよう。	・スピーチがとぎれてしまふときには，お互い助け合うことを再度伝える。 ・学習課題を示し，活動の見通しをもたせる。	
3分	5 学習の進め方を確認する。	・ALTが紹介した飲食店について生徒に質問し，内容を確認する。	・モデルを紹介する。
18分	6 各自で作文する。(個人活動)	○「お助けシート」を掲示し，課題の進め方を確認する。	
10分	7 グループになり，アドバイス作業をする。(4人グループの協同活動→表現の共有)	・自分の力で作文するために，必要な生徒には和英辞書を使ってもいいことを伝える。 ・なかなか書けない生徒には，個別に書き方のアドバイスをする。 ㊦自分の考えを英語で書くことができる。 (観察・ワークシート)	
5分	8 アドバイスをもとに作文の手直しをする。(個人活動)	○時間を決めて友達の作文を読ませ，表現上よい点や，さらによくなるためのアドバイスを記入させる。 ・アドバイスの記入が完了したら，作文を本人のもとに返却させ，記入された内容を確認させる。	
3分	9 本時のまとめをする。	・自己評価カードに記入し，本時の振り返りをさせる。	

3 資料

(第1学年)

【スピーチのワークシート】

Basic Exercise for 7th graders No.1-2

1. Introduction Mission (紹介ミッション) その2
2. 他人のスピーチに答える(Writing) 英語で自分の人を紹介しよう

my mother / my father / my sister / my brother / その他()

There is ... ()

Q: There is my brother here.

1. He (She) lives ...
He (She) lives in ...
He (She) lives in ...
He (She) lives in ...

2. He (She) likes ... very much.
He (She) likes ... very much.
He (She) likes ... very much.
He (She) likes ... very much.

3. He (She) plays ...
He (She) plays ...
He (She) plays ...
He (She) plays ...

4. He (She) doesn't like (play) ...
He (She) doesn't like (play) ...
He (She) doesn't like (play) ...
He (She) doesn't like (play) ...

Thank you very much.

【ポイントシート】

Basic Exercise for 7th graders No.1-3

1. Introduction Mission (紹介ミッション) その3
2. Mission: 自己紹介文を確認して発表しよう(Speaking)
スピーチでの注意点: 前回と同じポイントです!!

clear voice: はっきりと

eye contact: 相手の目を見て

smile: 笑顔で...

4. Mission: 自己紹介文を確認して発表しよう(Speaking)
□でできているものに○, できていないものに×, まあまにあに△を!

チェックして くれた人の名前	clear voice	eye contact	smile

【Who's Who シート】

Lesson Handout for 7th graders No.1-4

Who's Who Quiz #1

1. My best friend is Tim. He is twelve years old. She likes reading books. She plays the sax and guitar. She doesn't like math.
Who am I? Answer: _____

2. My cat is Mimi. She is fifteen years old. She likes eating. She likes sleeping in the sun. She doesn't like taking a shower.
Who am I? Answer: _____

3. My friend is Tom. She lives in Kyushu. She likes games. She plays the trumpet. She doesn't like to study.
Who am I? Answer: _____

4. My friend is Ryo. He is thirteen years old. He likes The Beatles very much. He plays soccer. He doesn't like studying.
Who am I? Answer: _____

5. My brother is Satoshi. He lives in Tokyo city. He is seven years old. He likes games very much. He plays soccer. He doesn't like studying.
Who am I? Answer: _____

6. My sister is Sana. She lives in Kyoto. She is sixteen years old. She likes chocolate. She plays basketball. She doesn't like studying.
Who am I? Answer: _____

(第3学年)

【3文即興スピーチのワークシート】

3文即興スピーチ

Work Sheet

トピック第8回

本日のトピック

- 北海道と沖縄のどちらに行きたいか
- 昨日したこと
- 私の大好きな人
- 私のオススメ本・雑誌
- 一番好きな食べ物
- 将来の夢

<お助けヒント>

- どちらに行きたいかを言ってから、その理由を述べる。
I want to go to Okinawa. I have never been there.
- 時間軸に沿って述べたり、1つのことについて述べたりする。
I watched a baseball game between Soft Bank and Chunichi. It was very exciting.
- 好きな人の名前とその人についてあるしほエピソードを述べる。
I like Oguri Shun. He is an actor and very cool!
- おすすめの本や雑誌を言ってから、その特徴を述べる。
I recommend "Shonen Jump" to you. I always read "Naruto".
- 好きな食べ物とその味、食べられるところ(店)などを述べる。
I like ramen very much. I especially like tonkotsu ramen.
- 何をしたいかとその理由を述べる。
I want to be a singer like AKB48 because I like singing and dancing very much.

【生徒(成績中位)作文】

【お助けシート】

「オススメ飲食店を紹介しよう」 お助けシート

1 オススメ店の名前を述べる I recommend Rakosute.

2 その店の説明を

(1) "It is a ..." を使って何の店なのかを述べ、 (2) 何回くらい行ったことがあるかを言う

It is a ramen shop.

I have been there many times.

3 それに対しての印象、考えなどを述べる(2文以上) because ~ や I think... を使って

I like Rakosute because the soup is fantastic!

I think the roast pork is the best in Ibaraki.

オススメ飲食店を紹介しよう

Class 2 No. 24 Name _____

1st Try

I recommend Kayarakki. It is a Soba shop.
I have been there three times. Kayarakki is an
old building. I like Kayarakki because the
soba is very delicious and teppanyaki is crisp.
Kayarakki is near Joyful Honda. I think